京城日報
二日夕刊
定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金六拾五錢 [illegible] 郵税代用二割增
廣告料 五號活字一行金壹圓 [illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 [illegible] 振替貯金口座 [illegible]

○伍氏外交總長就任

伍廷芳氏は一日外交總長に就任せり(北京電報)

○米支借款正式調印

米支五百萬弗借款契約は米國銀行團代表者マイルス氏と支那側代表駐米國公使顧維鈞氏との間に正式に調印したる旨支那政府に急電ありたり(北京特電)

○加州平和運動熾烈

米國加州に於ても強制平和同盟會の運動頗る熾烈なり(紐育電報)

○獨軍羅都に薄る

羅都來電=獨逸はブカレスト市の南十六哩なるツオクナレを奪取せり(紐育電報)

○羅都の運命危し

英國公署の報ずる處に據ればマッケンゼン軍の主團はブカレストの南西二十哩なるカンガレにも接近しつゝあり之と同時に敵は多腦河の渡船場ギャルヂニツアを攻撃しつゝあり是れ瞭かに敵が愈堅密に羅軍を包圍せんの意圖に外ならず此戰鬪に依つてブカレストの運命は決せらる可く從つてブ市の運命は頗る危しと云ふ可し(紐育電報)

▲別報 獨墺軍は羅國首府ブカレストを距る六里の近距離迄殺到しブカレストの運命愈々危殆に瀕せり(紐育電報)

○米船撃沈問題とならず

西班牙沖に於て米國汽船チエマング號を撃沈せしは墺國潜航艇なるが如も同船は戰時禁制品を積載し居りしと云へば六ケ敷問題とはならざる可し(紐育電報)

○英國炭坑國有編入

英國政府はサウスウエルス炭坑を國有に編入せり(紐育電報)

○濠洲同盟罷業解決

濠洲政府の調停效を奏し炭鑛夫等は來る日曜日を期し就業するに決せり炭鑛夫等は要求容れられたるが故に炭價は昂騰す可しと豫想せらる(シドニー電報)

○露相新任

露國農務次官リチフは農相に新任せられたり(紐育電報)

○總督東京出發

長谷川朝鮮總督は二日東京を出發し同日伊勢著三日伊勢神宮參拜の上京都に到り四日桃山御陵參拜同夜七時京都出發赴任の途に上ると(大阪電報)

○大山公經過好し

大山公の容態は安靜にして經過良好なり(東京電報)

○加藤子九州行

一日夜山口縣憲政會支部發會式臨席の加藤高明子二日朝關門通過戸畑へ赴き明治專門學校旭硝子會社を視察福岡へ向へり(門司特電)

○早川三井專務

九州經濟狀態視察中の早川三井銀行專務二日朝下關發歸京せり(門司特電)

○奉天米領事

奉天駐紮米國領事ベーカー氏二日朝高麗丸にて釜山著午前十時半發列車にて京城へ向へり(釜山特電)

○教員養成所團

京城教員養成所職員生徒三十八名二日朝釜山著釜山見學の後夜行にて京城へ歸校の筈(釜山特電)

○野田氏東上

福岡縣へ歸鄕中の前東拓副總裁野田卯太郎氏は二日午前出發東上の途に就けり(福岡特電)

○總督出發公報

長谷川總督は二日午前八時三十分東京出發來任の途に著ける旨同日午前十時六分大城戸囑託より總督府に電報あり、同日は伊勢山田泊りにて三日は大廟に參拜の上發足のことゝなる可し

○農技官會同(第六日)

農業技術官會同第六日は前日に引き續き二日午前九時三十分より總督府第二會議室に開催、出席者前日の如く小原農商工部長官統裁の下に直に日程に入り協議事項の協定ありて正午閉會せり、三日は一同勸業模範場纛島支場を視察の筈なり

○朝鮮大豆と移出の前途

本年朝鮮大豆の地位及び移出の前途に就き最も豆類の移出に活動しつゝある共益社當事者の談を聞くに今秋收穫の大豆は品質存外に佳良にして內地に於る鮮豆の聲價は益々高まる觀あり殊に本年北海道大豆の作柄は頗る不況なりしと更に滿洲大豆は銀價暴騰の爲め小洋錢の時價にて買出し之れを內地に移出するも到底引合はず加ふるに大連內地間の船腹は不足にして運賃不廉に付滿洲大豆の內地市場輸出は頗る困難の狀態にあり之等の事情は朝鮮大豆の母國移出活躍の好機會を與へ現下頗る有利の地位にあり其の相場の如きも之れを昨年に比すれば同一品にて石に付三圓方上値を保ち從つて其の出廻りも頗る旺盛なるが如何せん昨今喧しき船腹不足鐵道輸送力不十分の爲め當店の買出し大豆のみにても目下各線の停滯は約六萬石を越ね其のカバーの如き鐵道所持品のみにては不足に付內地より新に之れを取寄せ充用し居れるも何分其の石高夥しき爲め其の野積みも絕無を保せず降雨破害を頗る氣にし居る次第なり以上の如き前途を觀るに上述の如き好材料は併つて相場先高を想はしめ益々好況にありと云ひ得るに付本年移出大豆の見込は鮮內豊作と相場高により往年に比し少なからざる增加を示すべく其の消費量の如き必らず若干の減少を示し以て移出額を增大すべし而して今日の朝鮮大豆の內地仕向先は北は總武線より中仙道一帶に及び關西九州殆んど行き渡らざる場所なしの觀あり共益社としては幾多の注文先に對し大豆の送荷を急ぎ居れど滯貨の現況は荷捌けを順調ならしめず從つて金融上の關係より最近其の地方買出しを手控へ居れど滯貨の處分進まば其の買附を休まざる筈なり

○平南小野田出張所

平安南道中和郡楓洞面綾盛里小野田セメント會社出張所は江東郡晩達山綾盛里對岸に於てセメント製造材料分析所及び工場並に鐵道敷設地採掘地等の測量其他の調査を了り十一月末日一先京城に引揚げたり而して同會社の技師笠井工學博士は目下京城に於て補助金下附の交渉請願の爲め滯在せる由なるが愈々補助金下附の確定を見れば來年二三月の頃より事業開始を見るに至るべし(平壤)

○秋山軍司令官

三日朝龍山驛著

秋山大將は二日朝連絡船高麗丸にて歸任の途に就けり(門司特電)
東上中なりし駐劄軍司令官陸軍大將秋山好古氏は竹內高級副官を隨へ二日下關乘船三日午前八時四十分龍山著列車にて歸任す

新任朝鮮總督附武官 海軍少將釜屋六郎氏

○嶺南廻り　餘洋

□三千浦より　前夜六時半、朝郵汽船慶寶丸は、馬山埠頭を解纜したる、僅に百七十噸なるも、內海航行の事とて、海上は黑風飛び、潮音耳を貫くも、幸に大濤なきを以て、小生の爲には至て平穩、堅くるしき旅舘などよりは、數等居心地好きホテル也。乘客には朝鮮人多く、船員の談に依れば、逐時朝鮮旅行者の、船便を利用し來るもの頗る增加すと、結構千萬也。日中ならば、此邊一體、群島蝶列して、異に多島の風光を賞するに足らんも、夜分なれば致方なし。試みに甲板に立てば、乾坤暗々、眠々、僅に力なき船燈に映じて、波頭の白く淡く見ゆると、橋上は怖しき風の唸を聞くと、何處の燈臺か、螢火の如く、明滅するものあるを見るのみ、小時佇立、寒威甚し、倉皇室に入り、毛布を被れば、早くも熟睡す、起されて、時計を見れば午前三時十分、船を乘て、上陸旅舘に休憩午前八時半、三千浦を發す、寒さ面を向くべからず(廿八)

□晉州より　三寒に入りて第二日、寒風例ふべからず、而も自動車上風を防ぐべき法なし。三千浦を發し、昨夜海上の客は、今日は山中の人となる、所々水害の跡歴然たり。峻峰續つて、屹として寒天に聳ゆる處、始と樹木を見ず一端豪雨に逢ふや、山水=溪水とは云はず全山の水一時に下るが故也=は遠慮なく、田も畓も、向ふ處壓伏し盡さずんば止まず。水丈けならば、未だ斷忍の法もあらんも其の運び來る磊々たる石塊は、忽ち到る處、石田、田畓と化し、根本的の破壞をなすが故に、さらでだに狹き、山間の耕作地は、愈々狹くなり行くは實際也。天公の惡戯、茲に至つて、極まれりと云ふべし。されば途中、人家を見る事少なく、炊煙の上る處は、之等天公の不敵の振舞を避けたる、耕作地を多く有する個所也。颶風颯々、車上言なく唯爆音に、往來白衣の人を驚かすのみ、遙に智異山を、碧空に望めば山上白冠を裝ふ、風の寒きも當然也。泗川を經て、晉州に入る(廿九)

○森少將送別會

總督附武官森少將は一日夜歸任と共に海軍將官會議員を命ぜられたるより軍司令部警務總監部主要職員總督府官房高等官有志等は二日午後六時より氏を千代本に招待送別宴を開く因に少將の出發期は多分六日の頃となる可し

○金久保旅團長巡視

步兵第四十旅團長金久保少將は水原、春川、忠州の各守備隊巡視の爲め甲副官を隨へ七日より一週間の豫定にて出張す可し(大邱)

○八十聯隊新兵入營

四日釜山入港の御用船にて著釜五日午後七時大邱に著すべき步兵第八十聯隊へ入營すべき新兵は六百四十八名也

安東縣

▲田村領事代理請宴　安東領事代理田村幸策氏は一日正午より藤川平北道長官を主賓とし松本第二部長深川新義州府尹及び當地の重なる人士十餘名を請待し官邸に於て午餐會を催せり▲藤川長官視察　藤川平北長官は一日午前十一時來安田村領事代理の招宴に列したる後商品陳列館其他を視察し午後三時頃新義州へ引還せり▲山縣氏寄附　市場通なる辻山洋行主山縣寅吉氏は安東小學校基本金として今回金一百圓を寄附せり▲本年の初雪　本年は例年になき暖氣なりしも數日前より俄かに寒威加はり一日拂曉より降雪あり日中の氣溫零下一度にて正午頃に至り漸く歇みたるが深さ三寸餘に及べり是れ本年の初雪にして昨年に比すれば二十日遲れたり

平壤

▲成川郡地方の物價昂騰　平安南道成川郡地方は近來頓に物價騰貴し米粟の如きは一升に付き十錢其他の物價一圓に對し十五錢位の騰貴を見たり而して此れが原因は大成金鑛會社附近の鑛石發見の增加と之れに伴ふ盜掘者の增加し鑛石賣買の結果に依るものなりと噂せらる要するに同地方鑛業の發達に伴ひ著しく好景氣を呈したるなりと云ふ▲新年祝賀會の準備　平壤府尹及び商業會議所會頭は大正六年一月一日箕陽倶樂部に於て新年祝賀の爲め一大名刺交換會を催すべく協議し官民有志の重なる者に對し發企人たるの贊成を求むべく會費は一人五十錢一月一日午前十時開催▲商業會議所評議員會　平壤商議評議員會は十二月一日午後六時より會議所に開催し前月中の事務報告あり其他二三事項に付き協議を遂げ喜樂にて晚餐會を開けり▲平壤憲兵隊の異動　平壤憲兵隊にては十二月一日下士以下の昇進任官を發表し同時に本部各係主任及び分遣所長以下多數の交迭を行ひたり▲新入營者歡迎會　步兵第七十七聯隊に入營すべき兵員は既報の如く十二月三日午前一時臨時列車にて平壤驛著の豫定なるが平壤府及び平壤商業會議所に於ては會議の結果官民共多數停車場に出迎へを爲し且停車場休憩室に於て茶菓の饗應を爲すべく決定せり▲平南の製筵講習會　平安南道廳に於ては今回製筵製叺獎勵の爲め製筵器を配付し左記日割に依り各郡に於て講習會を開催すべしと然して講習員は畓最も多く原料たる藁の豊富なる地方農民を選拔し廿五名を一組として傳習せしむる由又講習員にして五日間缺勤せざるものに對て一日三十錢を食費として支給する由なり▲警察署の不良少年取締　平壤府內に於ける不良少年は決して少くない中にも朝早く塵挨箱の裡より木の端其他金になりさうな物を採る者最も多く甚しき者は便所の蓋や溝蓋迄も持去るより調査の結果該當者二十餘名あり其內八名は東亞煙草分工場に職工として預け四名は商店の丁稚に住込ませ其他の者は父兄及親族に保護方を嚴諭せり

鎭南浦

▲商工學校近況　鎭南浦商工學校は現在生徒人員は總員百二十一名商科五十一名商科二年四十名工科一年三十名にして商科二年生は公立簡易商業學校より引繼ぎ收容したるものにて工科生は木工科にて本年九月より授業開始をなせり實習としては商科にありては商取引の大要を工科にありては工具の使用法を年始めに先づ易より難に進むの主義を取り手工藝的のものを授け現今は竹箸名札竹製團扇差羽子板鹽取衣紋掛等を實作せしめつゝあるが漸次趣味を以て仕事に從事し寒風身に浸む昨今の氣候に額に汗しつゝ自ら樂みつゝあり要するに商科にあれ工科にあれ勤勞に對する觀念を養成する主義にて主として實習に全力を注ぎつゝあり▲分監作業近況　鎭南浦分監在監人現在は二百七十四人內刑事被告人二名受刑者二百七十二名にして獄內作業は主として藁工多く近時天日草と稱する野生の草にてバスケット果物入等を作製中なるが成績頗る良好にして內地より註文ありと云ふ外役は目下四十人南浦停車場附近埋立工事人夫として使役し其他は木挽工指物職紙漉等をも試みつゝあり▲電氣會社近況　鎭南浦電氣會社に於ける十一月中久原製錬所に供給せし電力は四萬キロワットにして市中電燈取付數二千四百三十一個十燭換算四萬三千百五十四個なりと因に同社は本年迄創立以來無配當なりしが上半期に於て五分の配當を見たるが今期の配當は約六分強に配當さるべしと▲煙草賣行景況　鎭南浦客月中口付煙草賣行は百八十二萬九千五百二十本にして前月より三割七分四厘の增加を示し賣行順位は菊水、朝日、初日、明月等の順にて兩切は千百七十四萬本にして三割三分七分の增加を見たるが順位はヘルメット、ウエルス、白圓、一圓の順也▲最近米穀相場　鎭南浦に於る昨今米價は上格十二圓七十錢下格十一圓五十錢にして主として黃海平南の產なり一日平均三千石の買契約を見るに至る昨年迄齋藤、新井、馬場、櫻井等の買入れ主たりしが本年は仁川三井物產支店南浦に出張所を設け盛に買入に勉めつゝあり▲北倉渡船近況　鎭南浦及び黃海道安岳郡北倉間の渡船近況を聞に昨年十二月より五年十一月末日迄の旅客人員は二萬八千八百五十八人牛馬三百四十五頭荷物三十個賃金總計五千九百六十八圓なりと

咸興

▲咸興砂金賣買　咸興郡及び附近各郡に於ては砂金鑛最も多數にして各地とも農事の閑期に入れる昨今砂金の出廻り俄かに增加すると共に之が賣買の熾んなる事殆ど絕頂に達せり即ち現に咸鏡農工銀行咸興支店のみの買收量の如きも日々莫大なるものにして中には一口數千圓に上れるものあり因に大口賣買は主として定平郡咸大洞方面にて採取せらるゝものなりと▲市街引込線工事　咸興炭鑛會社の經營に係る咸興西湖津間輕便鐵道咸興市街地引込線工事は認可遲延の爲め寒に入りたる折柄本年內に於て工事の竣工を見るべしとは思はれざりしに同會社は其後非常なる意氣込にて軌條の敷設は勿論停車場、同事務所、貨物倉庫、汽罐庫等に至るまで移轉或は改築を敢行し工事は既に八分通りの進捗を見るに至れるを以て十二月中旬までには全部落成すると同時に新停車場より貨客の呑吐をなし得べしと

大邱

▲兵營敷地寄附　大邱旅團設置期成會にては大邱府及び達城郡所在地を陸軍用地として寄附すべく大正五年六月に出願せしが總督府より十一月廿九日附認可の指命を受けたり▲吉松一部長著任　慶尙北道第一部長に新任せられたる吉松憲郎氏は夫人同伴にて卅日午後四時五分南急行列車にて著任せり▲二宮副官著任　忠州駐屯大隊長より今回步兵第四十旅團高級副官に轉任を命ぜられたる步兵少佐二宮季夫氏は廿九日著任せり▲朝銀支店長歡迎會　新任朝鮮銀行大邱支店長松田義雄氏を官民有志者發起にて卅日午後六時より料亭明石に招待歡迎會を催せり

○釜山と名士

▲露國領事ナフトロー氏▲立花陸軍省參事官▲岡崎博士(以上)十二月一日夕出港新羅丸にて內地へ

人事消息

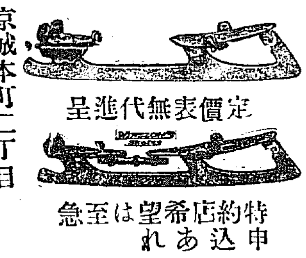
▲持地土木局長　二日朝南大門發列車にて仁川へ出張
▲加藤末郎氏(東亞煙草朝鮮支店長)　二日內地へ
▲小野山雪次郎氏(北靑農學校長)　二日入京南金旅館へ

新手藝型紙
パトロン
[illegible]
東京市小石川區高田老松町三七　新手藝研究會　振替口座東京三三二六四

專賣特許 製麵機

最新うどんそうめん 特許製麵機械
博覽會共進會名譽金銀賞牌各種受領
○陳列場には各種麵機多數陳列せり
○說明書御望みの方郵券二錢要す
東京市淺草區東仲町二十番地
元祖 Ⓜ 眞崎廣麵機店
電話下谷(長)五一二〇九　振替東京一三三五七五三

仁川 白神洋行
鐵材 鋼材 浪板、平板 針金、洋釘
ペイント、油類一切、コークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シヤブル
帶革、ロープ 機械、工具 附屬品 其他
新田帶革總代理店
[物價表御一報次第無代進呈]

新荷著廣告
米國製最新式
スケート

定價表無代進呈
特約店希望者は至急申込あれ
京城本町二丁目
篠崎運動具店
電話一三〇三番 振替四六八番

產婦人科
本院 京城旭町二丁目 電話二三四〇番 診察午後
分院 龍山漢江通(柳町) 電話一〇六番 診察午前
中央婦人病院
院主 衣笠 武

●三角山下の大運動會

嚴めしい警官も今日は子供のやうに 遉がに警察氣分の漲る振つた造り物

初冬の寒威打續いた茲數日とは打つて變つた小春風の運動日和の十二月二日京畿道警務部、京城憲兵隊本部を始めとして府内昌德宮、本町、鍾路の三警察署、龍山、京城の兩憲兵分隊及び常備消防隊聯合の大運動會は既報の如く三角山下なる

▲景福宮裏手の神武門外の大廣場老松に取圍まれたる芝原で開催された正門の入口に作り物の巡査に擧手の禮を以て迎へられて這入れば左側に本町署の製作に係る不眠不休の姿で隼が籠つて居るものや天網に擬した張網の中に殺人、強盜などの犯罪札が蔽はれてゐるのは遉に

▲警察氣分が遺憾なく發揮され其の右側には警務部の趣向で高さ二十五尺の毛布製の大達磨が眼を光らせ、尙場内には常備消防隊の手で臨時望樓と警鐘とが拵へられある競技場の廣場中央には國旗を笄頭にして一段高く多數の萬國旗を蜘蛛手に吊るされ、境外には大小十數個の天幕を張りて本部審判席並に各隊署員の屯所に充てられ其他來賓席から救護班

▲食堂音樂隊に至る迄遺憾なき設備が整へられ軈がて午前九時頃早くも各隊署長以下會場に參集し一發の煙火を合圖に約七百名の總員場の中央に整列すれば隈部警務部長より一場の訓話ありて午前十時半より各係員指揮の下に競技に移る本部には隈部警務部長を初め呼子昌德宮、矢野龍山の各隊署長著席し競技者は各回共各隊署二名宛とし本部及び警務部は赤色、京城分隊は白、本町署は青、鍾路署は紫、龍山分隊は黃、昌德宮署は桃色の各

▲襷を掛けた る甲斐〳〵しき姿にて徒競走、提灯競爭、家鴨追ひなどの競技があつた、家鴨追ひは三等迄其の家鴨を賞品とし中にも八百米突の長距離徒歩競走には各隊署の選手何れ劣らぬ馬力を出したが一等は京城分隊の田中二等は警務部の松井三等は本町署の野口の三氏の名譽に歸し何れも隈部警務部長より賞品を授與せられた而してこれらの結果は號外を以て報せられ各

▲隊署の聲援 と相俟つて中々の盛況を呈し午前中に十二回の競技を終り別に餘興として素人相撲の催しがあり勇士の面々の中龍山分隊の山崎上等兵が五人拔きの月桂冠を得て喝采裡に一先づ休憩して午餐に移つた此時已に古海警務總長立花第十九師團長等の來賓も續々來場し食堂には内鮮人貴族高官紳士等場狹き迄溢れた午後一時より更に競技は開催せられ野頭本町署の

▲假裝行列が 樂隊を先頭に靜々場の一隅から繰り出された先づ與村警部の神主姿と重久刑事の壁と佐々村刑事の煙突掃除夫は中にも傑作の呼聲高く其他珍趣向百出の變態は何れも大喝采を博し次に三角山上に樹てられた國旗取りといふ頗る大仕掛の大臣離徒歩競走に移つた其の出動選手は左の如くである

▲昌德宮署州崎巡査、安德植▲京分李章造清與次郎▲本町署方起恭、金昌錫▲鍾路署金聖默金昌旭▲本部小出源次郎、池田兵吉▲龍分島田宗次、金調鐵の十二名である(午後二時記)

◆諸營業と火災豫防

京城本町警察署にては火災豫防の爲め十一月十二日より二十日迄管内居住の湯屋、宿屋、料理屋、貸座敷、鍛冶屋、鑄物屋、酒精類及び油類貯藏所販賣業者等に就て各戸其臨檢の上一般火氣取扱上の注意を與へ湯屋には焚口と燃料の距離、火消壺の周圍を不燃質物にて築造すること、煙突の改造又は掃除等を命じたるもの十數戸宿屋、貸座敷、飲食店等には消火器の設備、弁燈の硝子製油盤を禁じたるもの約二百軒あり諸興行場にも消火器の設備及び終業後には不眠番を置くこと、鍛冶鑄物職に對しては風管と火床間に不燃質物の隔壁を設くること、火床周圍の壁を不燃質物にて築造すること並に天井張を三和土或は金屬物に改むる樣注意したるもの數軒ありと

●固くなつて中隊長殿の前に

明くれば新兵生活の第一日 各班の前にづらり並んで誓文式

一日の夜龍山に著くと直ぐに聯隊に入り各中隊に配屬された新入營者は其の夜直ちに種々樣な私服を軍服に代へて兎に角形丈は一人前の兵士になつたが

▣遉にまだ落付ぬ心 を甲斐々々しく世話をしてくれる上官や古兵の親切で漸く休め感慨多き其の第一夜を送つた二日の朝は早くから起されて寢具の取除け、洗面、食事など一々班長の注意で濟ませ十時から十一時までに入浴を終ると各中隊共一室に初年兵全部を集め中隊長以下中隊幹部列席の上で

▣嚴肅な誓文式を行なつた式場には長方形の机の上に『今般御讀聞相成候讀法の條々堅く相守り誓て違背仕間敷候事、右宣誓如件』と記した美濃版の誓文紙が置かれて正面に中隊長が勳章を輝かして儼然として立つとそれに向ひ合つて一同が威儀を繕ろひながら極めて敬虔な心持を緊張した顏面に表はして固くなつて整列すると

▣中隊長から嚴かな口調で軍人精神隊内の規則等を讀み聞かしその逐條解釋をして皆得心が出來たら宣誓をいふので一人一人進み出て署名した下に捺印を捺し引退る、之れが各中隊共三四十分で濟むと各班に還つて昨夜迄著用してゐた衣類を

▣衣類、帽子、下駄の類まで國許に送り返すべく油紙を巻きつけては小包にしてゐる、午後二時から御眞影奉拜式を爲し入隊式は四日の午前十時聯隊全員集合の上聯隊前に於て行はれる筈である

新入兵の誓文式(二日午前十一時半步兵第七十八聯隊にて)

●汽車に觸る

熊本縣生れ當時平壤柳町鐵道線路工夫見習川口音市(二)は去月二十七日平壤驛構内にて同僚七名と作業中給水汽鑵車の疾走し來るに避け損ひ左下腿部を切斷されたるが直ちに慈惠醫院に擔ぎ込み應急の手當を施し目下同院に於て治療中なるが膝蓋關節より切斷せば三週間位にて全治すべしと

●親の敵

仁川寺町李奉連(三二)は隣家の楊萬壽が自分の父が下水溝に放尿したるを怒り水を注ぎ懸けたるより同家に怒鳴り込み突然萬壽を地上に引倒し散々に毆打して治療約三週間を要する傷を負はせた廉を依り三十日仁川支廳で科料三圓に處せられたり

●銃で割腹

平南中和郡祥原面黑隅里吳致龍(三七)は去月二十二日午後三時頃自宅炊事場に接せし温突の間に於て銃を以て腹部を切割き自殺を遂げたるが原因は本春長女に死に別れ爾來痛く之れを悲しみ居たれば多分精神に異狀を來し此始末に及びたるものなるべしと

●屍體を密葬

釜山大新洞より九德山阪を經龜浦に越ゆる街道丁度商業學校裏手に當る松林中へ朝鮮人の病死者三名を埋めし事判明し十九日朝釜山署員急遽現場に出張して取り調べたるに虎列拉患者の屍體らしき疑ひあるも何者の所爲とも判明せざるより取り敢へず行旅病死者として發掘の上直に火葬に附し此附近一帶は嚴重なる消毒を施し引き上げたりと

●阿片を密賣す

江原道伊川郡邑内塔里盧東金(五七)安峽面李承培(五三)伊川郡邑内西面上禾岩里元始明(五二)伊川郡邑内南佐里天道敎書記朴根浩(三)等は共謀し本年五月中伊川郡西面上禾岩里のタルコルと稱する深山の奥にて多量の罌粟を栽培して阿片煙を製造密賣しゐたること此程に至りて發覺し犯人等伊川憲兵分遣所の手に檢擧されたり

●鮮人部落を荒す

仁川柳町白聖七方同居金春源(二五)は本年七月以降仁川署管内朝鮮人部落を荒し廻りたる曲者にて外里李聖彥方外八箇所より竊取したる衣類雜品數十點は三百七十八圓餘の價格に達し居れるが仁川署の刑事は苦心の末遂に此程同人を逮捕せしが目下同署に於て嚴重取調べ中

●醫生に化けて

京城蓬萊町洞居住半琿(五二)は醫生の風を裝ひ本年六月中仁寺洞吳氏の長女の病氣なりと聞き込みて同人を診察したる上有合せたる藥を與へて謝禮金を受取りたるを手初め外數名より同樣手段にて合計五十餘圓を捲上げたる爲め京城憲兵分隊に檢擧されたり

●獵銃で威嚇す

去月二十八日午前一時獵銃及び刀を携へたる五人組の賊慶北金泉郡南面龍申洞李成天(四二)方を襲ひ中一名は門前に見張りを爲し他の四名は獵銃及び刀を持つて室内に入り就眠中なりし李を呼び起し周布にて頭を覆ひ金を提供すべし若し隱せざれば射殺すべしと脅して金品取混せ百七十七圓を奪取して逃走しその足にて同郡果谷面光明洞金華益(四〇)方を襲ひ同人及び陰順一(三〇)鄭周吉(三八)姜大俊(三九)金東述(三〇)の五名に對し前同樣の手段にて脅迫し百九十八圓八十錢を奪取し立ち去るに際し發砲し一名に負傷せしめて何れにか逃走したりと犯人不明目下搜査中なり(慶北)

●大阪築港 稅關倉庫燒失

一日午後九時五十分大阪築港にある稅關倉庫より失火し大倉庫一棟稅關出張所燒失十一日迄鎭火損害十七萬圓(大阪特電)

●難破船を救助す

朝鮮郵船會社所屬汽船襄陽丸は去月三十日午後三時五十五分慶南長生浦を發し釜山に向け航海中同日午後三時二十分切端岬を去る北東約一浬の沖合に於て一隻の帆船が怒濤の中に飜弄され二名の鮮人漁夫は艇に辛くも獅嚙附き聲を限りに救ひを求め居るを認め同船は針路を轉じて難破船に近づき件の二名を救助し該船は曳船せんとしたるも波浪高く加ふるに水船となりたる爲め如何ともする能はず止むなく船は同所に放棄し同日午後七時四十五分釜山港に入港し該遭難者二名は釜山の知人へ引取らしめたりと(釜山)

●賊と格鬪す

慶尙北道盈德警察署長小松警部は十一月廿六日午後江口に通せる入來山峠を通行中擧動不審なる一名の内地人來れるより之を取調べしに當時盈德郡烏浦洞居住の山口条太郞にして前科者なる事判明したれば取調べんとせしに署長の隙に乘じ逃走せるより追跡し入來山腹にて格鬪の末難なく取押へたり

●鮮婦殺し捕はる

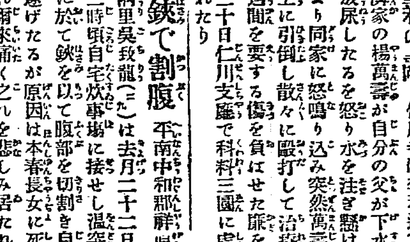
去月三日朝群山九條通りに面する丘上より鮮婦人の慘死體發見したる事は當時所報の如くなるが爾來群山警察署に於ては犯人嚴探中本月十七日該犯人を逮捕するに至りたり被害者は忠淸南道舒川郡南陽面下衿里古物商金召史(四五)と云ふ犯人は同郡馬東面於里山里農業金在動(三五)にて被害者とは兼て知合の間にて金召史の多分貯溜あるを知れる金在動は其金を奪んが爲に金召史を誘ひ來り犯行を敢てせるものゝ由取調の結果犯人は一件書類と共に二十七日群山檢事局に送致せり

讀者文藝(一等には五十錢の番組券を呈す)

▽締め書

○魚籃(一等) 平安北道龍岩浦 武良富美子

▲選外佳作 京城段川、龍山岡本小草子、京城中村丁玲、同笠井蝶葉、大田故天生、晋州金炳説、古色新海斎、龍岩浦松尾さかへ、京城越丸源四郎



▲大問題 上圖の通り。

●猩紅熱

京城吉野町一丁目百十四小林きくゑ(一六)は三十日診斷の結果猩紅熱と判明患家は消毒の上同人は順化院へ入院せり

●前科一犯の曲者

下關市東南部町生れの林本商塙野太郞(三九)は前科一犯あり十月末京城本町五丁目重兼某方に忍び込み同家同居人石田、富松兩人の所有なる羅紗引廻し高貴織羽織袷各一枚(四十四圓)を竊取したる爲め京城地方法院にて懲役三箇月の處分となれり

歲暮の景氣

▣贈答品に ▣洋酒の需要

▼▲舶來雜貨店 ‖賑い舶來煙草‖ ‖今が書入れ時‖

食料品雜貨商の歲暮の景氣は何れもホク〳〵もの、好景氣である、舶來雜貨店では本町通りの龜屋、明治屋、靑木堂、ロシヤ物産など何れも今年の景氣は惡くはないとのはなしである、殊に朝鮮ではブランデーとかホキスキー等の洋酒を始めベルモット、キユラソー、ペパミントなどの紅い酒、青い酒等みな廉くそれに

▼舶來煙草も 内地よりはズント廉いのでこれ等の需要は一年四季を通じて旺んである、併し麥酒サイダー等の飲料品を除いてはどうしても秋から歲暮の多にかけてが此の種の商品の書入時である、殊に歲暮の贈答品としては洋菓子、洋酒、洋煙草などが一番多く雜貨屋の繁昌するのもこれからである龜屋と靑木堂の主人のはなしでは今年は

▼昨年よりも 景氣がよく愈よ年末に押詰つて見なければ分らぬけれども此の分なれば惡い方ではないとのこと、以前は不廉い洋酒の大箱一二打をドシ〳〵贈答品に使はれましたが此の四五年は一般に地味に質素になりました併し今年は一般の氣分が大分陽氣になつて來ましたからわれ〳〵仲間も嬉んで居ります、尤も昨今内地の素晴らしい景氣を聽くと京城などは足許にもよりつかぬ位ゐで殊に大阪神戸あたりになりますと大成金、小成金から下は職工に至るまで何れもドシ〳〵

▼儲けた金を バラ撒くので久原の如きは打五六百圓の葡萄酒を絶えず注文するとのはなしです、朝鮮もこんなはなしを聽く丈けでも人の氣分が異ひますから商人も一般によい方です、殊に今日の新聞では小野田セメントの分工場も出來るさうですから是からはよくなりませう、いろ〳〵な内地の資本も流入し[illegible]

●賭博

仁川外里勞働者金順日(四三)外六名は二十八日夜九時半頃同人方に於て鬪箋を以てオチヤキと稱する賭博をなし居る處を巡査に踏込まれて殘らず逮捕せられ三十日仁川警察署に於て各笞六十に處せらる

灯ともごろ

▲セウルプレスの山縣さんは龜屋の金剛松飴が好きでちよい〳〵自身に買ひに行かれる相なが朝鮮人が根氣付けの靈藥として用ふるもので餘りたべると頗る物騷ですけれども山縣先生ならまあ大丈夫でせうと番頭さん大眞面目▲序に松飴の包み紙の金剛山斷髮嶺の寫眞畫は李王職の博物館から探し出した李朝の鮮人畫家の筆になるものださうな▲この頃北滿洲では日本の藥屋が頻りに殺されるこれは單身奥地深く冒險的に出かけるので馬賊などの毒手に斃れるのだとのこと▲一日龍山の步兵第七十八聯隊で行はれた宣誓式の時署名の出來ぬ兵が些しあつたが之には班長がその手を持ち添へて漸く署名させたが憫んな兵でも二年間には普通假名交り文位は書ける樣になるとはその席に立ち會つた某少佐の話▲軍司令部の白水參謀長の室の入口の扉に小な紙切れに『此處に入る者は戸を敲くに及ばず』

●釜山草梁の火事 去月二十九日午後八時頃釜山草梁洞[illegible]人農李宅千方より火を失し[illegible]たる爲めなりと損害は約三十圓位

●連絡船上陸客 一日午前九[illegible] 御田吾一、高橋哲二、田村卓一、上島慶篤、幽田勇、三等(百七十六名)

[illegible]れたり因にさくら[illegible]

(讀者倶樂部募集規程)

圓募集規程 ▲用紙は端書又は四六判の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名[illegible]

天氣 晴れ時々曇り

十二月三日 [illegible]

〈演藝案内〉

明治町 電話二六〇 浪花館 ○新時代の浪花節吉川今勝一行來る 十二月二日より毎夜六時開演 讀物△孝子五郎正宗(吉川都)△征韓論 和歌浦譽の大刀風(吉川鐵舟)△慶安太平記(浪花錦升)△空前の大疑獄 美人ころし(吉川今勝)△南部坂雪の別れ 大川容堂(吉川[illegible])

日本活動寫眞株式會社特約 本町一丁目 電話二六六 有樂館 十一月二十七日より三大寫眞提供特別興行 [illegible]

お待兼の浪花節 吉川今勝一行 いよ〳〵今晩より出演 ▲南部坂雪の別れ ▲美人ころし 長講二席吉川今勝口演 浪花館

御成町 電話一一九一 御成座 第三十八回編題 勇士の血涙「大和櫻」全十一場 [illegible]

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 櫻井町 電話八七三 大正館 十一月廿九日より引續き特別大興行 [illegible] ○泰西活劇恐怖 全三巻 ○武士道鑑曾我兄弟 [illegible]

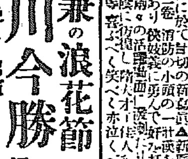
天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店 カシノ商會朝鮮 電話一八五二(階上) 二六三七(階下) 黃金館 [illegible] 新派連鎖劇金剛石 [illegible] 大活劇終編黑い箱 [illegible]

山縣五十雄 村上唯吉共著 富の道しるべ 價十五錢 郵税二錢 京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

院長 醫學博士 緒方正清 大阪今橋 緒方婦人科病院 次長 醫學士 緒方祐將 ドクトル 箕浦光雄 醫學士 高野三男 醫學士 曽根源作 電話本局 一九八四 一九八五 一九八六番 ●内務省指定 緒方助産婦教育所 產婆生徒 本科毎年十一月 別科隨時入學

西洋料理、電氣すき燒、ハイカラ丼 おいしい事京城第一との高評を博し居り候 南大門通 電話二五七一番 カフエータイガー

新荷著 スヰツツル製 懷中時計 アンクル機械 機械堅牢無比正確精巧優美にして而も實用的に價格の低廉なる事天下無比



(ニツケル側)十八形 一圓九十錢 同 二圓五十錢 同 三圓二十錢 同十六形 三圓九十錢 同 四圓二十錢 同 六圓二十錢 同 日曜付十六形 十一圓[illegible] ラヂユーム入 十七形 十圓[illegible] (鐵側)ラヂユーム入十八形 [illegible] (銀側)[illegible] (金張)[illegible] 同(十年保險) 同(十年保險) (金側)十八金 [illegible]

流行腕卷時計 [illegible]

右は今回新著の商品にて本商會限りて他店に無き所のもの伏して願はくば御來店御引立の程奉願候地方遠隔の御注文に對しては代金引換小包郵便にて御送附申上候

時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貴重直輸入商

本店 京城本町二丁目電話九七三番 イングレツシー商會

總督府屬鈴村文六儀豫て病氣中の處藥石効なく本日午前六時三十分死去候間此段謹告候也
追て葬儀の日時場所等は重ねて御通知可申上候
十二月二日 京城大和町一丁目二三
妻 鈴村イト
親戚總代 長瀬和吉
友人總代 青木戒三
三好明彌

神佛葬儀請負 供花御寄贈品一切 京城大和町壹丁目五一 大和葬儀社 電話二四三八番

西曆 一九一六年 十二月三日 日出 七時二十一分 日入 五時十三分 滿潮 午前[illegible] 午後[illegible] 干潮 [illegible]

●名士續々來る

星州畫伯展覽會

二日の正午から本社樓上に於て開催した星州作品展覽會は非常の盛況を極め午後二時頃には既に千餘名の入場者が有つた懸け連ねた蒙古、滿洲、西藏等の畫題は一つとして會衆の眼を驚かしめざるはなく本社の豫期したる如く多數の人々に對し尠からず繪によつて滿蒙の氣分を味はしめる事を得た殊に學生等の間には此の雄大なる天然と珍らしき習俗等を目撃し尠からず其の智識欲を滿足し得たろらしく中にはスケッチブックを取出して陳列の繪畫を熱心に寫生した者も多かつた午後二時迄に賣約濟みとなつた重なる作品は夕陽を松寺檢事正、萬里の長城を小宮李王職次官、西藏の山村を松永道長官、山火を西小門の和田氏、蒙古山間の遊牧を土地調査局の津田氏其他であつた

◇初霜、雪、氷（朝鮮總督府觀測所報）

地名	本年	昨年比較	平年比較
初霜			
慶南河東	十一月二十六日	早二日	—
同 昌寧	十一月十八日	—	—
全南 光	同	—	—
江原 珍	十一月廿二日	—	—
初雪			
慶北 金泉	十一月廿七日	早十七日	—
全南 木浦	同	早一日	晩五日
全北 茂朱	同	—	—
同 群山	同	晩八日	—
忠南 論山	同	晩九日	—
初氷			
江原 鐵原	十一月十一日	晩十四日	—
慶南 居昌	十一月十二日	晩十五日	—
全南 寶城	十一月十七日	早七日	晩十三日
慶南 河東	十一月廿二日	晩九日	晩十日
江原 江陵	十一月廿七日	早一日	晩七日
慶南 密山	十一月廿八日	晩七日	—
全南 木浦	同	—	—

▽人柄と流行の色彩

■「氏より育ち」とはうまいことをいつたものです、それと共に氏も育ちも好い人ならば一段と人柄が上品なことは云はずとも知れてゐます、流行界と人柄に就いて明るい人の話によれば

■いくら流行の色や模様が好いとても人の柄に假まらねば駄目であることはこれ迄から度々繰返された話ですが近時の流行は玄人が却つて地味で素人が派手であると云はれてゐますが地味な玄人と派手な素人と並んで見ると矢張何處かに玄人は仇つぽく素人は品が好いのは不思議な位であります

■派手は必ずしも粹向きで地味は必ずしも堅氣向きとは定つてゐません派手でも上品なのがあり地味でも粹なのが澤山あります、一例を舉ぐればあの派手な胸模樣でも色彩の取合はせ一つで落付きのある模樣にもなれば地味な縞柄でも細い色絲一本で馬鹿に粹なものと變じ得られます、

■人柄の人は眼が高い、品の模樣が卑しきに流れやうとしても流れ得られない、そこに人柄の値が存してゐるのです、流行を趁つて猿の眞似をするより人柄を作るが流行の第一義だと流行通の話

◇朝鮮結婚の巻（三）

▽因習から生ずる弊害

新婦が新郎の家に到着すれば座上に幣帛を立てた二つの器が列べて舅姑に敬謁し舅姑の無きは其位牌に謁拜し漸次居並ぶ

◆親戚の男女

に一々叮嚀に挨拶する是が滯りなく濟むと愈々勝の祝宴に移る、而して新婦は生家を立出で、以來常に目を瞑ることになつてゐるから勝部に對つても自ら箸をつける譯に行かねばかりか三日間は多く食を執らず痛んでゐる、花婿を迎へに最初の三日間は兩人共新郎の家で共に寢起し四日目に相携へて新郎の實家に引揚げ玆に婚儀の總ぶ了を告ぐることになるのである、次に朝鮮人間に於ける婚姻も內地人と同樣雙方身分財產等略均衡のものを選擇する事になつてゐるけれど貰ひ先は自家より

◆幾分下級で

あつても差支無い、併し娘を他家へ嫁げる際に於ては相手方の地位財產等が必ず自家以上を選定するといふことが古來の習慣となつてゐる處女であつて孀婦となつても再婚することは悖德行爲として社會一般から賤み嫌はれるから公然再嫁は結よい風はないが實際に於ては雲泥の差異があり女子として最も尊ぶべき節操を汚し風儀を紊り醜聞を流すものゝ續出するは要するに斯かる舊習が生する悲むべき事情の伏在するからである、此の舊習から生ずる弊害は姦夫姦婦の本夫殺しである恐らく朝鮮程此の種の慘劇の多い所はあるまい、之れは年少の男子が

◆年增の嫁を

娶るといふ點に基因するので夫れと同時に暮婆をなし家庭を紊亂し醜態を社會に暴露する者の多きは早婚の弊である結婚に際して新郎新婦の自由意志なるものを父母に於て毫も認めざる爲め木に竹を繼いだやうな夫婦が多く遂には反目離婚するやうに成り易い、是等は今研究すべき社會上の大問題である、又朝鮮では統計から見ると女の數は男よりも遙かに稀少であり結婚式を擧げるには多額の費用を要する爲め妻帶の一事は古來非常の難事とせられてゐるが其實女の數が尠い爲でなく因習に捕はれた結果婦女再婚を許さず是れがため婚姻の資格ある婦女が少いと言ふに過ぎないのである（をはり）

△雉子カツレツ　キジの身ばかりをよくたゝきまず鹽胡椒をして少しくたゝきパン粉をつけ溶麥粉をつけ玉子黃味をぬりパン粉をまぶしてラードにて揚げる（骨本はつ子）

次回講談豫告

宮本武藏も讀者多大の喝采裡に首尾能く近く大團圓を告ぐべければ次回講談には

明君道中記　田邊南弘

が特に我社の爲に演じたる斬新奇拔の得意の讀物を掲載すべし內容の珍らしきと面白きは今更贅言を要せず本講談は演劇で云へば彼の故人助高屋高助又は中村宗十郎の得意もの大和橋馬切の名題ものにて駿河大納言忠長の嫡子長七郎が諸侯を辭して心の儘に諸國を往來したる奇聞逸事乞ふ掲載の日を待たれよ

◆火傷の時の手當

これから暖爐や火鉢に親しむやうになると往々子供の火傷が多くなります、現に昨今子守の不注意の爲めに大事な嬰兒を火鉢の中に取落し大怪俄をさせた家もあれば册親の居睡りから抱いた子供の頭を暖爐で燒いた家庭もあります、其の他炬燵の火傷も多く延いては火事を起すこともありますので家庭ではよく〳〵注意せなければなりませぬ、火傷の時は應急手當として局部に油を塗りその上から繃帶して黴菌の侵入を防ぐが一番です、そして早くお醫者に診て貰ふがよろしい、但し油と申しても石油は不可ません、油はワゼリンなどがよろしく空氣の刺戟を避けることが第一です

◉鈴木屬逝去

總督府商工課度量衡事務に鞅掌し精勵の聞え高かりし總督府屬鈴木文六氏は曾て急性肺炎に犯され總督府醫院に入院治療中なりしが藥石効なく二日朝逝去せり葬儀は未定なるが遺族は大和町一丁目二三東洋學校裏に引き越し知友の弔問を受け居れり

◉仁川の戰跡講演

南滿鐵道會社旅順驛長大坪恋三郎氏は冬期間の休暇を利用し朝鮮內其他の戰跡觀察の爲め同地出張へ平壤京城を經て一日仁川に赴き仁川港を觀察したるが同日午後二時より仁川公立商業專修學校其の他各學校の希望に依り尋常高小學校に於て日露戰爭の當時旅順港に於ける陸海軍包圍攻擊に關し講演をなし多大の感動を與へたり（仁川）

◇神社とお寺と教會

○曹洞宗別院（若草町）一日より七日まで午後七時より臘八接心座禪あり

○東本願寺（南山町）二日午後七時より信者報恩講三日午後七時より日曜講話あり

○開教院（本町三）三日午前八時より日曜學校午後七時より日曜說教あり

○救世軍の集會　二日（土曜）午後七時旭町十銀行支店前にて『神によれる自由』有馬大尉三日（日曜）午後七時半、永樂町二丁目通屋內にて『幸福なる者等』同人

○京城基督教會（南米倉町）午前十時朝拜說教『自ら省よ』山本牧師午後七時半夕拜說教『耶蘇は何ぞや』同牧師

○本能寺（水標橋通）定期布教三日午後七時如是講師の親教と法華經の講義とあり

○龍山日本基督教會（漢江通）三日午前九時日曜學校同十時三十分禮拜說教『缺陷の一點』同午後七時半傳導說教『饗宴の殘物』伊藤牧師

○メソヂスト教會（南大門三丁目教會）三日午後二時禮拜說教『殺者の來仕』藤岡牧師午後七時三十分（旭町二丁目牧師館）傳導說教『求道の動機』細井錦吉君、曾田添伊智君、山口熙平君

商況

東京債券現物特電（前日との比較）

三十日出來値段	前日との比較
東洋拓殖	—
京城電氣	—
朝鮮銀行	一八二、〇〇
朝鮮瓦斯	—
南滿鐵道	—

東京株式特電

十日大引 諸株父場發す

銘柄	前場寄付	大引
日本郵船	—	—
京城電氣	—	—
鐘淵紡績	—	—
同新株	—	—
日本石油	—	—
東株第一	—	—
東新第二	—	—
東新第一	—	—
東新第二	—	—

東京公債直取引（前日との比較）

一日出來値段	値段
五分特別	九七、一〇
五分甲	—
一回四分	八二、四〇
二回四分	—
甲五分	九七、〇〇

深川在米特電

二日現在高	
朝鮮米	一三、七六八
蕃米	六四、六六四
內地米	一二三、一八六

東京期米特電

	寄付	後場
二日前場	一二月限	
	一八、四九	—
	一八、六〇九	—

大阪株式特電

銘柄	前場	後場
諸株六十圓高	—	—
神戶	—	—
京阪電氣	—	—
和歌山水電	—	—
大阪商船	—	—
合同紡績	—	—
鐘淵紡績	—	—
同新株	—	—
大日本製糖	—	—
東洋紡績	—	—
日本新株	—	—
東京	—	—
大阪株式	—	—

大阪三品特電

	前場	後場
和田紡績	二五〇	—
	二七〇、一〇	—

大阪期米特電

	前場	後場
一二月限	一八、四〇	一八、一五〇
一月限	一八、六〇	一八、六三〇
二月限	一八、六〇	一八、六〇〇
三月限	一八、六〇	一八、五五〇
四月限	一八、五〇	一八、五〇〇
五月限	一八、四五	一八、五〇〇
一二月限	一八、九〇	一八、七一〇
一月限	一八、六〇	一八、七〇〇
二月限	一八、〇〇	一八、九〇〇
三月限	一八、四〇	一八、九〇〇
四月限	一八、〇〇	一八、九〇〇
五月限	—	—

下關期米特電

二日前場	寄付	引
先限	一六、九六	—
中限	一七、九二	め止

雜報

	當限	中限	先限
二日前場 寄付	一六、六〇	一六、七〇	一七、〇〇
高値	一六、八〇	一六、八〇	一七、一〇
安値	一六、三〇	一六、三〇	一六、六〇
止め	一六、五〇	一六、五〇	一六、八〇

◉落綿類奔騰

一時狂熱的相場の反動として稍ボンヤリ氣味なりしが米綿の暴騰に刺戟せられ更に軟化を傳へたりと雖も需要增加に伴ひ不足の大勢は動かず能く米綿の騰貴を好氣に繰返し來りしは依然綿布は高値にありて支那商人の妊然なる近來の入荷は品質劣となりし爲め苦情起り彼我商人の間に交涉起り居るもの如く紛爭の解決に對し越月せば騰貴の增錘により數量に於て增加するも至りたる聯合軍側の軍需品に多量使用せらるゝ爲め米綿の大勢騰益して本場の米綿以上同前に強弱の前以て向上氣配ありし先とて約一圓高の騰貴を誘し氣配は著しく昂ばり本品も又今一段の赤騰を免れざるべしと稱し居れり

◉糖砂高氣配

砂糖は會社側の態度頗る頑張にして昨今十三圓以下にては賣出さずと傳へられたるため技術市況も益々強氣に傾きつゝありし相場としては十三圓四五十錢を唱へられつゝあり然るに仁川筋は一時內地よりも一段高氣配を呈せしも昨今又々判安賣口の現はれ居れる趣きあり爲め兎角伸力を殺がれ居れる狀態にあるが何樣會社側の勢ひは前記の如くにて眼前年末需要も迫り居れる爲め今後自然的に今一段の高値を見るに至るべし

◉工業藥品強硬

工業藥品類は昨今に至り內地市況再び緊張し殊に昨冬の塲を時代の如き大活躍を演出せんとするの勢ひを呈し價格一般に上昂しつゝあり而して殊にアルカリ性品は輸入の歩々しからざると內地諸工業の勃興に伴はれて著しく需要の增加せられたるとにより人氣は彌が上にも旺盛の歩調を進め居れり又樟腦は昨今甚だしく品不足を生じ鼓許百斤に付百二十五圓てう突飛相場を演出したりと

◉毛皮類昂騰

毛皮は戰後は品獨逸への輸出杜絕によりて出廻り品の大部分は內地移出の多き猿皮を除く外本年は外氏の外に米國輸出の企業者が本年は新たに米國輸出の企業者も久々活動の手に委し邦人皮革商は殆ど支那商人を爲さんと只管出廻りの時期を待ちつゝありしが昨今漸く弗々ながら出廻りを見るに至りしと雖も支那商人の思惑が非常高價を以て買ひ取れ居れる模樣にて昨今の勢ひにては殆ど手を下し難き模樣なり例年の相場として狸皮の二圓六十錢といふ

◉四圓以上の高値

處なる叺、咋今四圓以上の高値を唱へられつゝあり未だ出廻り初期の事とて確實なる見當は立ち難きものゝ如し尙ほ輸入皮の裡値は文那產にて昨年十三四圓處のもの本年は十七圓五十錢にて昨年十三四圓處の若しも値高の爲め一般輸入を手控へたるが需要は昨年に劣らず

大阪堂島米穀取引所仲買人
キ原潮商店
多少に不拘御注文願上候
電話 北 三〇〇八 三〇〇九 一三三〇 一五三二 八二〇

◉麥粉は底強し氣配

麥粉は內地粉製造に至り一圓一割方高値を唱ふるに至り內地粉は昨今九十錢處を持合ひにて昨今の値上りを見越し仁川粉は附約品を除き二千袋餘を仁川市場に輸入しつゝ堅調の爲め多少人氣壓底強されの傾きあるが先依然騰合みの模樣あり

◉精米引締む

精白米は內地期米高に連れ移出注文更に多し値段は阪神米の入荷十六圓四十錢後入十六圓八十錢見當となり今日の所は一般なれ地鹽仲買の現況を觀るに於ては買持さ利安ひ持を維持せんとするの如く見へるが更に十二日に至り組合にては十五圓二十錢賣に勵行する事となり

◉十五圓二十錢賣

仁川米豆取引所仲買人
期米 賣買 平 丁甲商店
電話 一五八長 二九

◉蜜柑弗々入荷

蜜柑は昨今弗々入荷あり本月に入りて約三十八箱の入荷を見たるが本年は天候の具合により運輸等の都合上品薄の傾きあるより一般に品物不足の模樣なり市況は依然として相當高値を保ち居れり

◉上物二圓内外に据

上物は一圓一二十錢處の賣行きにて石油箱入二圓內外の賣相場なり

◉白米小賣値上げ

精白節句の引締めにより小賣値段も二日より五厘方値上げを見るに至り十六錢五厘に十五錢五厘賣値は五升入り上白七圓七十五錢次白七圓六十錢となれり

下關相場

▲朝鮮白米は爆保合其後別に買進氣なく出回りの事も見えず相場は保合の模樣なり（二日）

各地商況

○森仲買店　仁川海岸町三丁目 米豆取引所仲買人 電話店用長九五番 本宅電話八六三二番

△朝鮮一等白米（當用）十六圓五十錢 △同二等白米（當用）十六圓 △宣川大豆 十一圓七十五錢 △元山大豆 十一圓七十錢 △鳥致院大豆 十一圓八十錢

▲大豆は保合氣味 ○木浦（三十日の穀物）木浦は八九百俵內外の廻着ありたるも最初四圓と云ふ高値にて買取られたる爲め相場は甚だしく堅調の模樣なり

○群山（最近米況）群山に於ける在米は約七八萬石に昇り昨今毎日四五千の廻着あり移出旺盛なり

京城正米

精米筋は內米移輸出注文を抱き原料買みの振合ひにも高値を示せし爲め一時に買進みたる傾きありて相場は昨日來强硬なり

南大門の廻穀

仁川白米 一三、五〇 水原白米 二、一〇 忠清白米 一三、四〇

仁川現物市場

△二日 粗入津二千餘叺 △正米は強硬

釜山穀物市場

▲大豆賣り物稀薄の事とて相變らず保合なり

仁川期米

▲二日前場 長期前場七圓七十五錢

白米標準値

十七圓二十錢

仁川米豆取引所

二日の二月限	寄付	止め	高値	安値	出來
	十二圓八十七錢	十二圓四十錢	十二圓九十六錢	十二圓五十二錢	六萬五千石

平均値段	前場
一節	十二圓八十六錢
二節	十二圓八十四錢
三節	十二圓九十八錢
四節	十二圓九十一錢
五節	十二圓九十三錢

賣買取組高

	取組高	前日と比較
十二月限	七百五十石	七高
一月限	七萬五千石	四萬高
二月限	二萬三千石	六萬高
一日後場		三萬高

▲餅搗相場如何

例年十二月には餅搗相場と稱して高下變動あり本年も愈々此期に迫りたるものあり

▲正米より見て如何に割高

正米相場の現はれたる所を見るに今や十六圓九十錢と近年の高値を現出し十八圓の聲を聽せんとするの勢ひを示し居る

▲當然の成行き

▲外の高値

▲向に相到せば前途尙意

▲前場の新高値

大阪

前月の高値十二圓を九十錢抜く

▲大阪天候小雨前寄十七圓八十二錢

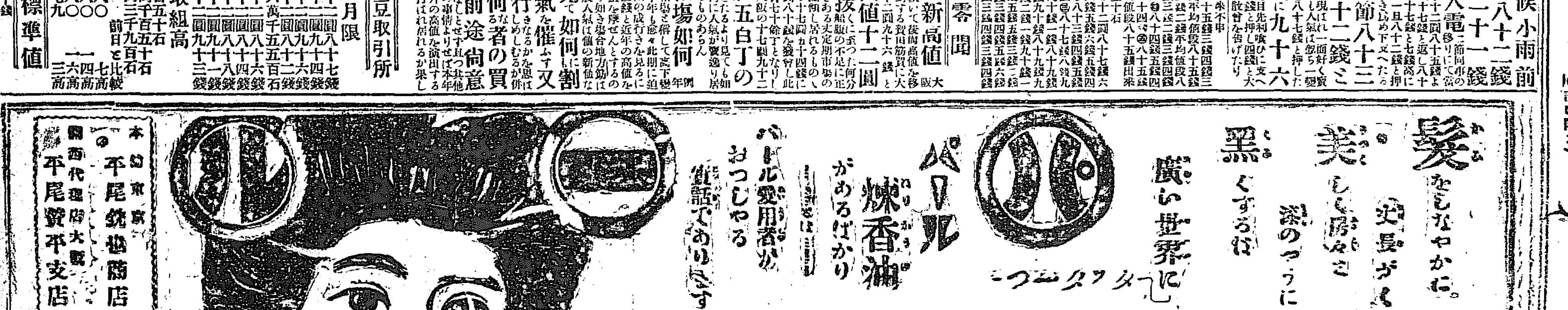
大上放れの入電二節同寄付十七圓九十二錢

昨止めより二十一錢高

▲大阪五節八十三錢六節九十二錢

高移りに更に九十六錢と沸騰

市場零聞



私立 岡崎町病院

內科。小兒科 外科。花柳病 眼科。皮膚科 產科。婦人科 胎兒男女別の鑑定 家畜病科 狂犬病の鑑定 狂犬病豫防注射

診察無料 藥價實費 入院隨意 低減

但し初回の往診に限り車代申受候（龍山方面より電話にて往診御申込の際は電話料弊院負擔可致候）

▲藥は遠近に拘らず當病院より無料配達仕候

診療時間 晝夜

京城府岡崎町五番地（古市町電車停留所前）電話長京城一二五二番

職員 雨森良三 日高廣矢 高木正人 瀧川繁太郎 依光重晴 島田營二

期米 機密通信社仁川支局 仁川米豆取引所前

懷中要藥 清心丹

主治効能 胃カタル、消化不良、過食、船車酔、魚肉の醉、腦貧血、日射病、精神疲勞、咽頭カタル、氣管支カタル、口臭、口熱、齒痛、其他咽喉渇潤、口中清涼、精神爽快、消化器病豫防等の目的

定價 壹圓入 五十錢入 三十錢入 二十錢入 十錢入

說明 下痢、疝痛、胸腹痛、溜飲、宿食、惡心嘔吐、頭痛、眩暈、船車酒の醉、中暑、氣疲、咳、口臭、口熱齒痛を治し、咽を潤し、口中を清涼にし、氣分を爽快ならしめ食後々々に服すれば消化を助け胃腸病を豫防す

本舗 東京市日本橋區元大坂町 高木與兵衛

陶器着荷廣告
各縣產地直取引
高等御旅館。料亭向。並に歲暮年始。御物進用品。建築材料品。肥前燒各種。信樂燒
○尺よりり尺八寸まで瓶掛色々
○遠隔の地よりの御注文は本月十五日迄の內御注文願上御差圖に隨ひ格好見膳ひ差上可申候
○代金は荷爲替付或は弊店振替口座にて御送金被下候得者運送の便利を計ひ迅速發送可仕候
京城本町一丁目 陶榮商店 振替口座京城參〇番

勸業、貯蓄債券、帝國公債、農工債券を擔保として迅速低利に御貸付仕候
案內書は御申越次第御送付致します
東京市麴町區內山下町一丁目（日本勸業銀行構內）
株式會社 勸業債券月報社
電話新橋二二九、三三六番 振替口座東京十八番

銃砲火藥
鑛山用火藥ダイナマイト 安全爆藥雷管導火線 新式獵銃獵具類販賣
川口屋銃砲店 店主 林 國藏
東京市日本橋區本銀町二丁目
電話本局（特）九二〇番 一〇七五番
振替東京三九二番

報 九

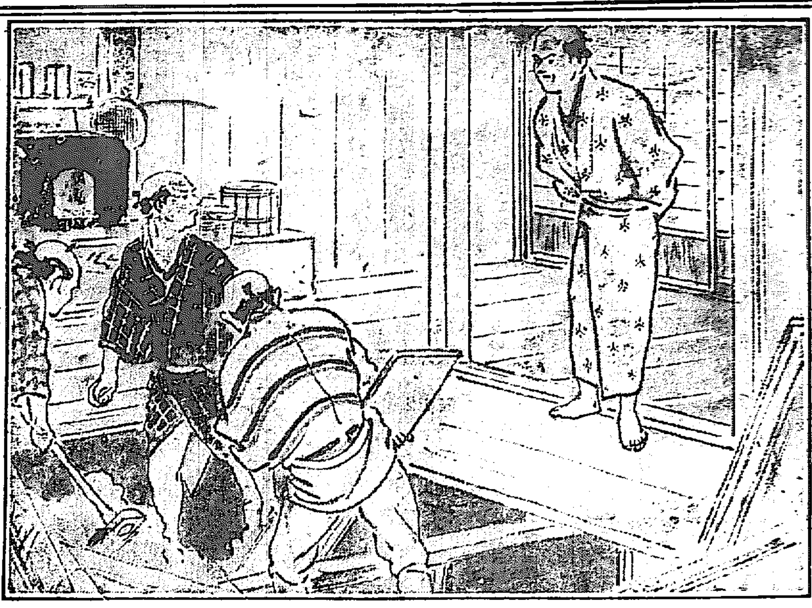
汽車時刻

[illegible]

宮本武藏

第二百三十三席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記



喜兵衞は 喜『彼處の竈の下を掘りますに就ては竈を毀さなければなりません、最も跡で築直して塗替へて差上げます、此の入費は一切手前が辨へますから何うか其の話しをなすつて頂きたい ○『然ういふことなら宜うございませうから私共が參つて話して見ませう、佛樣を世の中へ出すと云へば鬼のやうな源兵衞でも承知をしませう』と六七人揃つて長岡屋源兵衞方へ參りました ○『今日は旦那樣 源『イヤ大層揃つて來たな、何か儲け口でもあるのか ○『然ういふ譯でもございませんが少々旦那にお願ひ申したいことがございますので 源『何に願ひがあつて來た、何だ、○『全體是は喜兵衞が參つてお話しをするのですが、私共へ賴むといふから當人に代つて願ひに出ましたので 源『然うか ○『旦那の處の竈は餘程古くなつて痛んで居りますな 源『もう造へてから十年ばかりになるから餘程毀れた、然し未だ遣へるから今年一杯も遣つたら來年あたりは築直さうと思つて居るのだ ○『乃でございますが、直に毀して頂きたいものです 源『馬鹿を云ひなさい、未だ結好遣へるから直に毀すには及ばない、何で又お前達が其麽ことを云つて來たのだ ○『實は喜兵衞が平常から阿彌陀如來を信心いたしますので、源『彼の男は阿彌陀樣が信仰で佛喜兵衞と云ふ位だからな ○『其の喜兵衞が三晩續けて一ッ夢を見ましたので 源『何に夢を見た、夢なぞといふものは決して當になるものではない ○『阿彌陀樣が喜兵衞の枕邊に立つてお告げになつたのは、源兵衞の家の臺所の竈の下に永年埋つて居るから掘出して、埋つて居る阿彌陀如來を世の中へ出してくれと云ふので 源『何に俺の所の臺所の竈の下に阿彌陀樣が埋れて居る、そんな事があるものか、全體俺の家は日蓮宗で阿彌陀には用は無ね、第一竈の下を掘ると云へば臺所を毀さなくつてはなるめね、そんなことは出來ねね ○『デございますが、臺所を取毀して竈を築直しますのは私の方でいたします、兩三日の處御不自由なすつて下されば悉皆新らしくして差上げます 源『それなら宜い、入費はお前方の方で出すのだな ○『喜兵衞が半分出しまして私共が皆なで出し合て其の半分は拵へますので 源『そんなら直に毀しても宜い ○『未だ今毀すのではございません明日あたりからかゝりますから其のおつもりで 源『元の通りに拵へてくれゝば毀すとも掘るとも宜いやうにするが宜い ○『へエ有難うございます』と一同は歸つて喜兵衞に此の話しをいたし、翌日から喜兵衞を始め手傳の者七八人源兵衞方へ參つて臺所を毀し始めた、是から竈を取毀し其の下を掘りましたが、却々阿彌陀佛は出ない、是を見て源兵衞 源『何うした未だ出ないではないか、そんな物はありはしない 喜『折角でございますからもう少し掘して頂きたい 源『何のことは無い井戸でも掘るやうだな』是から又々下へ掘り下げてまゐりましたが、彼是四五尺も掘ると鍬へガツキリ當つた物があるから ○『しめた〱、何だか鍬に當つたぜ 喜『それは阿彌陀佛でございませう、あゝ有難い、南無阿彌陀佛〱』と掘り上げて見ると一ツの箱が出ましたから ○『ヤアー喜兵衞さん是ではないか、何にしろ釘で打付けて蓋が開かねえ、オイ誰か鑿かなんかで此の釘をこぢつて開けてくれめねか △『オー宜し〱、俺が開けて遣らう』と鑿を持つて蓋をこぢ開け中を見ると油紙に包である、其の油紙を除けて見ると、布に包である、其の布を取除けると錦の切に包だる六寸もあらうと云ふ黄金の御佛、しかも是は島黄金と云つて龍宮の金だといふ、是を見て喜兵衞は雀躍をして喜んだ。

石鹼化粧品 婦人小間物 卸商
月本政次郎商店
京城明治町二丁目 電話二三二番

入院隨意
胃腸病院
京城南大門通三丁目（鍾木商店横入る）
院主 佐々木杏造 電話一六五九番

美術額椽製作所
其他東京式金椽種々
明治町郵便所前 取次電話一六五番
鷲尾商店

十二月四日 九紫
舊十一月十日 乙壬
木命 三碧 東 建 友引

▲三碧 物確せぬ嘶多き日新事見合 坤の方は吉 嫁娶▲四綠 上都合の日轉居 入學金談 名弘求 職造婚姻 特許出願等萬吉▲五黃 女難口舌用心の日新事手控 舊事は吉萬叮嚀にせらるべし▲六白 望の日新事手控 舊事は吉衛生に注意せらるべし▲七赤 調子の狂ふ事ある日新事手控舊事は吉 女難亂酒を防ぐべし▲八白 賭におちぬ嘶ある日新事手控舊事は吉 爭論を慎まるべし▲九紫 婚姻日轉居開業等皆淸で吉 女子の思はぬ良縁を得る時期 有望の日也▲一白 淋よき日轉居開業 出漁名弘求 職金談 嫁娶取水 産業等萬吉▲二黑 お惑ごかしの事ある日新事手控舊事は吉貸出し散財等を防ぐべし

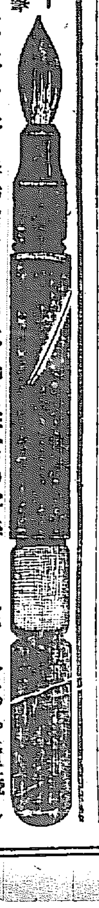
良職業あり
高尚有利の事業なり今回大に地方支部長を募集す返信料參錢相添へ至急申込るべし直に採用し規定書を送る
東京市芝區愛宕町二丁目十四番地
帝國法律普及會

腦病良藥 レーベン
●本レーベンは植物性の藥物にして醫學博士岡田、醫學士森繁吉、日向軍醫少監醫學士森友道氏等十餘名の諸大家が有効證明を有する良劑にして常時醫學士の創製に係る絕妙ナ精神經病良藥なり故に腦神經衰弱、頭痛、眩暈、逆上、ヒステリー其他凡ての腦神經系病に對する絕好の治療藥にして『リンサン』の多量に加味せられたる新式の錠劑なり論より證據先づ百錠乃至二百錠を試よ
藥價三十錢、五十錢、八十五錢、一圓六十錢、三圓、五圓五十錢、の六種あり、信用ある藥店に取次す、本病の療法書ご本劑の說明書は申込次第進上す
發行所東京市銀座弓町電話長京橋三〇八番●支店大阪東區安土町堺筋電話長本局三〇〇七番●弘齊藥完中山太郎

お歳暮には消化と毒けし 仁丹が一等！
金言 一の事實は二十の訓言よりも強し（英國俚諺）

品質第一 誠實第一 賣行第一
キッコーマン
最上醬油
醸造元 仁川港
日本醬油株式會社
京城出張所
京城大平通二丁目電話二四五番

タイヨー萬年毛筆



曩に五千本を限り特價賣出しの本品は非常の好評にて愈々全部を賣盡したれば各位の御厚情に酬ゆる爲製造元と交渉し引續き特價六十四錢を以て販賣可仕候間相變らず御用命ありたし
■京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番
京城日報社代理部

御料
御園白粉

御園白粉は發賣する迄に永い間の研究を積み、爾後今日に至る迄更に十數年の間絶ず原料を精選し製法に改善を加へて來ましたので今日の御園白粉は學理上これ以上出來ぬと云ふ程度の最良のものとなつて居りますから、普通の白粉と比較して

ノリとノビが非常によく
誰方にも容易く美しく着
其化粧榮えの高尚なる事

申分なく、之れを缺かさずお附け遊ばす時は、日毎に皮膚を柔軟かに且つ滑らかにし、お顔の色艶を麗しくし、眞から色白の美人となりますから、艶やかな上に、何處となく高尚の所が御座います。

御料 御園化粧品本舗 伊東胡蝶園
御料 御園化粧品發賣元 丸見屋商店
(203)

京城日報　第三版
三日刊（夕刊と合せて八頁）

▲今能く賣る
先十三圓〇一錢[illegible]に寄付たるも賣物多く直に十二圓九十八錢と押したるが大阪三圓十四錢と暴騰を移して買物頻に出で忽ち十三圓〇四錢[illegible]更に十三圓〇四錢と新高値[illegible]十三圓と押し〇一錢と[illegible]を告げたり市況は一面正米の好況を傳へて買物[illegible]

本紙定價　一部金三錢五厘一ヶ月金六十錢 郵税一ヶ月金十五錢[illegible]
廣告料　▲五號活字一行金七十錢▲[illegible]
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
電話番號　編輯[illegible]　營業[illegible]

京城論壇

朝鮮僻陬の小學教育

小規模小學校教育の特色

學務課長　弓削幸太郎

現今諸學校に於て一般に行ひつゝあるが如き多數の生徒を以て一學級を編制し、一人の教師之を擔當して教育を施すは、教授訓育上の効果を認めたるに依るは勿論なれども、然かも經濟上已むを得ざるに出でたる便法にして生徒數多きに從ひ種々の點に於て各生徒の犧牲に供せらるゝ事項亦決して少しとせず、殊に初等教育の幼年生に於ては出來得べくんば一學級の兒童數を可及的減少するを以て其の成績を擧ぐるに最も効果あるは識者を待たずして明なることなり。我が文部省に於ては特別の事情の存せざる限り一小學校の學級數は十八學級以下と定め、一學級の兒童數は尋常小學校に在りては七十人以下、高等小學校に在りては六十人以下とせり、文部省が此兒童數を定めたるは是を以て學級教授上の理想的兒童數と認めたる爲にはあらずして已むを得ざるに出でたる制限たること疑なし、然れども教育上の諸問題を根本的に解決するものは素より教育學の示す所にして、經濟的事情に至りては此の教育原理の適用せらるべき版圖を消極的に制限せるに過ぎざるものなり。「未來の小學校」と名付くる書に曰く「下士が新兵を教育するに當り一人にて擔當する數は十六人乃至十八人なるにも拘らず小學校に於ては四十人乃至六十人なり、新兵教育は幼年兒童の教育に比較して數倍困難なるものにあらず、卽ち一學級の兒童は多くも二十人を超過すべからず、斯くして初めて訓練も徹底し課罰の如きは其の必要を認めざるに至るべし」而して多くの教育學者は一學級兒童は三十人を超過すべからずとなし概して二十人乃至三十人を以て理想的となせり、澤柳博士も一學級に於ける兒童數は通常の教師にして兒童の特性を區別し得る程度に於て之を定むるを以て原則とし、二十五人乃至三十五人を以て組織するを可とする旨發表せられたることあり、而して歐米各國に於ける之れが實施の情況を見るに二三の例外は之れ無きにあらざるも佛國にては單級五十人多級四十人迄、諾威にては都會地五十人田舍四十五人迄、瑞典にては都會地三十人田舍四十三人迄、丁抹にては都會地三十五人田舍三十七人迄とし、我が滿鐵の如きも四十五人以下とせるが如し、卽兒童數多からんか、充分個性の調査をなして之れに適應する訓育方法を採ること困難なるのみならず教授に於ても亦兒童の能力相應の教材を教授すること難く其の方法も各自の典型に對して宜しきを得る能はざるものあり、從つて優秀なる者は其の長所を發揮することを得ずして徒に劣等生の爲に犧牲に供せられ、又之れに反して能力低劣なる者は充分に會得する迄親切なる方法を以て開發せらるゝことなくして不明の儘進行せしめらるゝが如きことなきにあらず、殊に算術の如きは下級に在りて基本たるべき教材を充分了解する能はざる儘進むが如き者あらんか、之れを基礎として更に推理することは殆んど不可能となり、上級に至りて或は全く低腦兒視せられ時に落第の悲運に會すること絶無とは稱すべからず、其の他書方、圖畫綴方等の批正、雜記帳の檢閱等に在りても七八十人の兒童に對して嚴密に之を行ひ遺憾なき指導をなすことは教師の最も勞苦とする所なるべし。翻て我が朝鮮に於ける小學校を見るに現在三百三十校中、百八十八校は單級組織のものにして其の過半は兒童數二十名以下なり、從て一箇學年の兒童は二三名又は四五名を出でず卽ち之れが教育法にして宜しきを得んか各兒童の學力に應じたる教授法を行ひ得るは勿論、最も個性に適したる薰陶をなし得るのみならず終始連絡統一ある教育を受け徹底せる効果を生ずるものにして斯の如き學校は其の狀況甚だ家庭に近く、學校訓育の効果は直に移して以て家庭に於て行ひ得るもの特に多かるべく、殊に規律、秩序、協同、分勞、同情等の諸種の社會的感情を養ふ機會に富む、之れ學級教育と個別教育との長所を兼ねたるものにして世界に於ける理想的小學校となすも敢て過言にあらざるなり、加之其の多くは僻陬の土地に散在するを以て環境自ら輕佻浮薄の風に乏しく、却て剛健質實の氣風をなし素樸敦厚の性格を養ひ易く、又假令兒童の年齡、學力、性質、體力等の差異著しきものあらんも兒童數少きが故に從來の學級教育の形式に因はれ各兒童をして往々之れが犧牲たらしむるが如きこと多からず、能く其の能力に應じ進度を斟酌して個人指導をなし得るの便あり、優秀なる者又は劣等なる者の爲には或は學年の如何に拘らず相當の方法を講じて短所の指導と長所の發揮とに努め得るのみならず、教師は六年間連絡統一ある教授訓練を行ひ得るを以て其の感化力は多級學校の比にあらざるものあるべし、然るに動もすれば斯の如き小學校は外觀往々振はざるものあるが爲め之れを目して直に頗る不完全なる教育をなすに過ぎずとなし、子弟をして是等の小學校に入學せしむるを厭ひ、都會地の兒童數多き學校に通學せしめざれば滿足せざる人士少からず、之れ考を要すべき問題にはあらざるなきか。

思ふに斯の如き人は一人の教師が六箇學年の兒童を一時に教授するを以て其の教授力は普通單式教授に比して六分の一に減少するものとなすもそは一理あるが如くにして然らず、卽ち兒童は普通一時間の教授と稱する四十五分間を連續して注意を集中し緊張せる心理狀態を呈して勉學し得るものにあらず、又此の時間中常に教師の直接教授のみを要するものにもあらず、換言すれば直接教授と間接指導と相俟ち自學と補導と相連絡して以て初めて眞の教育的教授をなし得るものにして假令前述の如く六箇學年を一人の教師にて教授するも兒童の自修と直接教授とを適當に配置し、教科目の組合せ其の宜しきを得ば世人の憂ふるが如き缺陷あるものにあらざるなり、今教授時間に關する研究をみるにブルゲルスタメン及びグリースバッハーの如く四十五分迄を許容するものあれどもロウ博士は其の實驗の結果を記して子供の疲勞を防ぐ爲には授業時間を短時間となすべし、卽ち五歳より七歳迄は十五分以下、七歳より十歳迄は二十分以下、十歳より十二歳迄は二十五分以下、十二歳より十六歳迄と雖も斷じて二十五分を超過すべからず

と云ひ又一千九百七年ロンドンに於て開催せられたる萬國聯合學校衞生會議に提出せる米國バーンハム氏の案に依れば六歳より九歳迄は十五分乃至二十分、九歳より十二歳迄は二十五分乃至三十分、十二歳より十四歳迄は三十五分乃至四十分、十四歳以上に至りて初めて四十五分とせり其の他プラーン、シャボーの如きも心理學的基礎より論じて幼年生には年齡に應じて十五分乃至三十分を以て教授に最も適當なる一時限となせり、今米國がヒリッピンに於て實施しつゝあるものを見るにプライマリースクールに在りては音樂三十分、讀方三十分、習字二十分、發音及綴字二十分、體操三十分、會話三十分、遊戲四十分、地理三十分、手工六十分乃至九十分にして工學科の難易、疲勞の多少等を斟酌して最も適當に定めたるものと云ふべく、我が國の如く尋常科一學年より高等科二學年迄總ての教科目に對して劃一的に時間を配當せるものとは大に其の趣を異にせり、而して我が文部省が毎週の教授時數として示せるものは全國各小學校殆んど打合せたるが如く何れも皆一律に四十五分を以て一時間と計算し居れども實際は教授に當つて時間を見るに教室の出入、準備、回復、手段等種々の事項の爲に更に減少しつゝあり、殊に多數の兒童を有する學級就中幼年生に對しては注意の散漫せる中に教授をなし不徹底に終るが如きものも亦少からず、是を兒童側より見んか眞の活動時間は頗る僅少なりと云ふを得べし、從つて地方小學校の少數兒童に對し充分なる自發的活動の習慣を養成し個性に適應する教育を施さんか、決して父兄の心痛するが如き缺陷あるものにあらざることを信ず。

地方に於ける小規模の小學校は勿論其の外觀振はず、數時間の教授を觀したる位にては或は滿足を得ざる事項もあるべく、又中途にして轉退學をなすが如き場合には往々不幸を見る兒童もなきにしもあらざるべしと雖も、是を以て直に是等小學校の全般に亙りて總括的の批評となすは其の當を得ざるものと謂ふ可し。只茲に憂ふべきは是等小學校中には設備頗る不充分にして殊に揭圖、標本、器械、藥品等、直接兒童の學力增進上必要缺くべからざるものに對し其の用意未だ足らざるものあることにして、學校組合の豫算に於ても備品中机、腰掛、黑板等の校具は計上しあるも器械、標本、圖書類は比較的等閑に附せらるゝもの少からず、是れ一は學校組合に於ける經費の負擔上已むを得ざるに出でたるものならんも亦一は當事者が其の價値を重要視せざるにも依らん、故に相當の方法に依りて之れが購入蒐集の途を開き以て兒童實力增進の方法を講じ、一層是等小規模單級小學校の長所を發揮するに遺憾なからんことを期するの必要あるべし。

目下本府に於ては兒童數十人以上に達すれば一小學校を設立することを許し、之に對して年額六百圓迄の補助金を下附しつゝあり、兒童數十人なれば學校組合內の戸數少きは二十戸內外なり、卽二三十戸にして其の子弟の爲に一學校を設立し教育の實を擧げんとする我が內地人の意氣と努力とは誠に敬服に堪へざるものあると共に、是等小學校に奉職する教員諸君も亦時に僻遠の地に於て不便を忍び困苦に堪へて能く其の責務を果しつゝあるは深く感謝する所なり、僻陬地より都會地、小規模の學校より大規模の學校を望むは之れ人情の自然ならんも、而も之れを教育的見地より見んか、最も教育の徹底を期し易く且自ら社會教化の中心より得べき是等の地方に於て理想的教育を施して子弟を薰陶し後進を誘導するは之れ教育者の最大快心事たらざりしや、余は屢々教育者諸君がペスタロッチを理想とせることを耳にせるが彼がスタンツに於て諸種の壓迫に堪へ缺乏を忍びて獻身的に教育に從事せる愛情と努力とを教師諸君に依りて再び我が朝鮮に於て實現せられんことを切望して已まざるものなり而して更に最後に一言したきは是等の地方に於ける父兄の學校教師に對する態度なり元來是等の學校は家庭教育と學校教育、及び往時の寺小屋教育とを折衷したるが如きものにして從來各地に於て一般に所謂學校と稱する形式及び內容とは大に其の趣を異にせるものあり、從て眞に其の效果を擧げんと欲せば父兄の教育者に對する態度が非常なる影響を其の子弟に與ふるものなることを深く自覺せざるべからず、父兄にして眞に教師を尊敬し其の苦心努力を感謝するは訓育上重大なる意義を有し效果を示すものにして、風呂沸きたる際其の子弟を教師の許に走らせて入浴を乞ひ、或は子弟の結婚に學校長の臨席を乞ふを光榮と爲すが如き者あらば其の子弟は敎へずして師長を敬し、戒めずして報恩の念に富み、養老尙齒の美風は自然に助長せられ郷黨の親和亦期せずして得られん。然るに往々學校組合に內訌ありて學校を見ること敵國の如く、教師を目すること使用人の如く、甚しきは子弟の前に於て其の教師の缺點を列擧し時に誹謗を交ふるが如き者無きにあらず、斯の如きは父兄自ら學校教育の妨害をなし子弟の訓育を破壞するものと云はざるべからず、子弟の教育を託する教師に對し懇懃鄭重、眞情を以て交はる父兄にして初めて其の老後を託すべき繼紹者を得、水火を恐れずして至誠に奉公する國民を養成し得可し、是れ余が特に一部父兄の猛省を乞はんとする所なり。

朝鮮十三道便覽

大正六年一月元旦附錄

大正六年一月元旦の京城日報は、新年附錄として朝鮮各道の事情を詳載せる、小冊子を添附すべし、何人たりとも一見すれば、座に居て各道を親しく觀察し得べく、稀に見るの好便覽なり、投資家は之に由て、將來の計畫をなすを得べく、旅客は是に因て、最も愉快なる旅行をなし得べし、何となれば江湖諸君が知らんと欲するものは、殆んど蒐集せられざるなく、殊に其の一目瞭然たる處は、密に本子の誇とする處也、其の內容の如き、我社が多額の費用と、多大の勞力を以て、悉く蒐集せる材料によりて、巧に編輯せられたるものなれば、此の一冊だにあらば、既に諸君は朝鮮通を以て、自任するを得べし、本小冊子の如きは、我社が聊か江湖愛讀者諸君に酬ゐんとする衷心に外ならざる也。

斯の如き好附錄ありや

京城日報社

日報詩壇

○秋雨懷鄉　兒島九皐
漢陽城裏又逢秋。一夜歸心更惹愁。夢覺枕邊人不見。唯聞風雨遶窗頭。
評曰　眞情叙來。不見泛構。

○觀楓　竹田燕雨
危磴幾重雲幾重。一橋横處暮煙濃。紅楓映蔚藍水。倦鳥驚飛山寺鐘。
評曰　幽而麗。畫手亦不及。

○秋雨懷鄉　三國谷三城
殘燈影暗夜沈沈。雨濕書窗客思深。又逢搖落秋將暮。故山香杳夢空尋。
評曰　久客心情寫出凄寂。

○秋日山行　內田六圃
雞犬無聲夕日閒。白雲紅樹隔人寰。不知吟興那邊好。只怕哀猿似峴山。

○觀菊　大出水鈴
買醉把杯塵慮輕。籬邊帶笑菊千莖。由來奔命營營客。幾許能持晩節淸。
評曰　對菊叙情。託諷有餘。

○秋日訪友人山居　田淵黍州
高情却見布衣人。家住山中陋巷塵。夕照黃花紅葉裏。一樽新釀樂天眞。
評曰　此興不讓淵明。

各種萬年筆即時修繕◎
新式機械と熟練せる職工により如何なる部分も即時修繕仕候定價送呈
京城旭町二丁目六番地　東京パイン萬年筆出張所

日韓書房　新版報告
新渡戸稻造著　自警　定價一圓六十錢 送料十六錢
虛子著　俳諧師　正續合本　定價一圓五十錢 送料十錢
坪內博士選　實傳小說　第一編　定價六十錢 送料八錢
與田義人著　學生論　定價八十五錢 送料十錢
國民中學會編　祝祭演說一千題　定價一圓 送料十錢
京城本町二丁目　電話一四一五番　振替口座一五一五番

婦人之友　十二月號　家計整理號
人生本來生活易　羽仁もと子
生活難を歎ずる人は之をお讀み下さい慰藉と希望と教訓に充ち溢れた大文字です。
女だてら　三宅博士
◎婦人職業問題に對する博士尚持の新觀察　佐治實然
◎貯金の仕方 借金の返し方
◎僅百圓の借金から廿五年間の四苦八苦
◎遺繰で成功した私の經驗
◎小學教員で一萬圓の貯蓄
◎低利の金で貸家を建て少資産をつくる
借金　(一)借金を賴む時何ういつたらよいでせう　(二)借金を斷る時何ういつたらよいでせう
懸賞募集婦人用語
慈善費は斯て出します……井深夫人
廢物は斯して整理します……淺田夫人
三十分の及す影響……主婦の不平　小記者
年末賞與は何に使ふか……
本誌獨特　寫眞家事　手紙の整理法と新聞の整理法　佐久間夫人　手塚かね子
▲難産は恐るゝに及ばず……
▲雛は何うして飼つたらよいか
▲貯金は何處に預けたらよいか
▲子供に小遣を與へた經驗
▲客用にもなる惣菜料理……
家庭小說　朝の歌　佐藤紅綠　人の罪か將た社會の罪か悲痛なる大團圓……
定價金廿錢　郵税一錢五厘　半年分税共一圓廿錢
東京雜司ヶ谷　振替東京一六〇一番　婦人之友社發行

朝鮮總督府　文武官及警察官御用達
刀劍類
金銀製徽章類一式　金銀モール製品一式　價格低廉製品確實
詳細ハ御一報次第御回答申上候
東京市芝區露月町十七番地
御用達　渡邊文
電話芝千七百七番　振替口座東京三九八五番

▲諸機關を鋭意刷新し取引正確と計算公明を誓ひ可申候
▲地方顧客の御注文は證據金電報爲替付願上度候
▲弊店營業案內は直ちに御送付可仕候
大阪株式取引所仲買（大阪市東區北濱二丁目）
奧田猿治郎
電話本局　長一九八番　長一九九番　長九七八番　長三三四四番

一月限　四萬二千七百五十石

○鄭家屯事件解決促進

林駐支公使は支那特使曹汝霖氏渡來以前に鄭家屯事件の解決を期し交渉を急ぎつゝありと(東京電報)

○警察權拒絶聲明 議員に對する段總理の答辯

段總理は十一月三十日參議院秘密會議に出席し議員の質問に對し鄭家屯事件交渉案中警察權には讓歩せずと陳べたり(北京特電)

○參議院改選期日

三十日附命令を以て參議院三分の一改選選擧日を商議會選出の分は十二月十八日其他選擧會より選出の分は來年一月十八日と爲す旨宣布せり(北京特電)

○老西開事件交渉説明

段總理は一日參議院に出席し參議院三分の一改選の手續を説明せる後秘密會にて天津老西開事件交渉の現況を説明せり(北京特電)

○露國新首相の電告

露國新首相ドレポフ氏は英國首相アスクイス氏に對し露國は聯合國の援助と協力を得て共同の敵に對し終局の勝利を博す可き事及び英露兩國間の友誼の永久に渝らざるを信ずる旨電報せり(倫敦電報)

○駐米獨大使の通告

聯合通信社華盛頓發電に曰く駐米獨逸大使ベルンストルフ伯は國務卿ランシング氏に通告して曰く米國汽船マリナ號を撃沈したる潜航艇司令は同船を以て運送船と見做したる旨を報告し來れり若し同船にして撃沈せらる可きものに非ざる事判明せば獨逸は之れが責任を明にするを辭せず依つて同船の資格に就て詳細の通告あらん事を求むと(紐育電報)

○獨逸宰相の負惜み 敵は未だ講和を欲せずと述ぶ

アムステルダム來電=獨逸議會に於て宰相ベートマン、ホルウエッヒ氏は述べて曰く『敵は未だ講和を欲せず彼等は兵數に於て我より遙に優勢なり獨軍の戰線は未だ突破せられざるも敵はソンムに於て莫大の糧食と彈丸とを有したる結果敵の優勢なるを認むるを得たり國民服役法案を實施するには憲政的に執行する前先づ努めて志願に依らしむる可し』社會黨の一代議士は之に反對したるを以て議場騷擾を極めたり(倫敦電報)

○露軍羅國々境占領

露都來電=露軍はキルババの南方羅馬尼國境の高地一帶全部を占領したり(紐育電報)

○英佛證券發賣中止

紐育市に於ける英佛兩國大藏證券發賣計畫は過日來米國準備銀行局より各準備銀行に向け外國大藏證券買入を見合はすべしと訓令したるより英佛財務官は此の訓令に基き右發賣撤回を申入れたるを以て該計畫は中止する事となれる旨發表せらる(紐育電報)

○兩軍砲戰

ヘーグ將軍十一月三十日夜發表の公報に曰く彼我兩軍は盛んに砲火を交へつゝあるが敵の砲撃はソンム、アンクル兩河間に於て殊に盛也(倫敦電報)

○澄宮御誕辰日

澄宮殿下には二日を以て第一回御誕辰日に當らせらるゝに付宮中に於て御祝宴あり文官大官孰れも參賀せり(東京電報)

○補助貨幣鑄造

政府は近來補助貨拂底に付五百萬圓鑄造に決定せり(東京電報)

□御饗宴

東宮殿下には二日正午芝離宮に淨法寺少將以下近衛師團上級將校同相當官を召させられ賜饌あらせられたり(東京電報)

○小池參事官免官

去月三十日政務局長より大使館參事官に轉任せる小池張造氏に對し二日左の通り辭令ありたり(東京特電)

依願免本官　大使館參事官　小池張造

○海軍進級追加

一日發表せられたる海軍進級追加左の如し(東京特電)

海軍大佐　平賀徳太郎
同　佐藤皐藏
同　野村房次郎
同　河野左金太
同　原靜吾
同　志津田定一郎
同　志摩猛
同　荒西鏡次郎
任海軍少將(各通)

○關東都督更迭か

關東都督中村覺大將は近く軍事參議官に親補され其後任として近衛師團長本郷房太郎中將若くは第六師團長明石元二郎中將の何れか轉任を見る可しとの説あり(東京電報)

◎煙酒稅擔保米支借款 一千萬圓借款契約の内容

廣江澤次郎氏談

流石の英米トラストも朝鮮より追ひ出され滿洲にて壓迫を受け北清にて苛められ南滿亦漸く獨占至難の運命に陷れり、玆に於てか彼は豊富なる財力と巧妙なる外交手段を以て一擧に功を收めんと支那煙草專賣權獲得運動に狂奔す、一昨年時の總理熊希齡氏とトラストの東洋總支配人トーマス氏との企ては、美事に失敗したるも昨年は又一箇年五百萬圓の報酬にて袁政府を誘拐せんとせしも列國の抗議にて是亦オジヤンとなりたるが、此度は米國に於て市俄古大陸商業銀行を通じ、煙酒稅を擔保として一千萬圓の借款契約を成立せしめ、既に財政總長陳錦濤氏は本月二十一日の衆議院秘密會にて一瀉千里通過せしめたり、今十一箇條より成る條約の全文を見んか

一、借款額米貨五百萬弗名義は實業の用に充つ國内事業の改良中國交通兩銀行の準備金並に其兌換等の用に供す
二、期限三年利子六分本年十一月一日より第一回の利子を附す一千九百十七年十一月一日以前に償還する時は利子以外に謝禮利子一分を加ふ又期限前七ケ月に償還する時は五厘を增附す
三、政府は煙酒公賣稅を擔保とす未償還の時は此項擔保の優先權を有す
四、國庫債券賣出額は九七とし前引の利子を加へ賣出し九七を超過せる時は銀行と政府之れを均分す
五、國庫債券及び利札は一切賦稅を免ず
六、毎年元手取九一外に前引の利子を加へ第四項規定を除くの外一切純利は皆銀行に歸す
七、債券利札遺失の時は補給す調印後五日内に銀行は四百五十萬圓を前渡しす
八、銀行利子支拂をなす時は政府は其支拂利子額の千分の五を給し又元金の支拂をなす時は其千分の二半を給して手數料とす
九、若し中國政府が米國より續借の時は該銀行に優先權を與へ其條件數額は臨時別に定む但し此優先權は續借米貨二千五百萬弗に至り限りとす並に政府が續借通告の日より六十日内に借否を回答し之れを過ぐれば政府は孰れにても隨意借款するを得
十、政府本契約の手續は中國約章法律を相符合し無論何種の條件契約等に違背せず
十一、本契約は駐米支那公使財政部總長委託全權電文を遵承し政府を代表し調印該電文は既に駐北京米國公使に照會せるものなり

財政の窮乏と目星しき擔保物の種切れとなりたる機會に乘じ、煙酒稅權を掌中の玉とせしはトラスト近來の大成功と云ふ可し。乍併參議院の通過と支那國論の沸騰及び各國の抗議は容易にトラストの横暴跋扈を許さゞる可きも、不取敢入手せし條文を發表して江湖識者の注意を乞はんとす。

○秋山大將著釜

秋山軍司令官は武内副官を從へ二日夜八時四十分對馬丸にて釜山著同十一時發列車にて北行せり(釜山特電)

◎朝鮮經濟概況

當局の調査に係る十月中の經濟概況を聞くに出穀期に入り内地相場の不味なりしも注文筋に對し弗々出荷あり且つ綿絲布類の見越輸入の爲め本月の輸移出入貿易の總額は一千二百萬圓にして前月に比し輸移出は五十萬圓輸移入は四十萬圓を孰れも增加したり而して豐作の豫想は物價の昂騰に拘はらず地方の買氣を煽り日用雜貨の賣行良好なるのみならず米穀買出資金の需用漸く多きを加へ本月末の民間預金は前月末より六十八萬圓を減少し同貸出は二百九十萬圓に增加し從て朝鮮銀行券の流通高は滿洲に於ける貸出の增加と共に前月末より四百三十萬圓を激增し金融界の前途は益々多忙ならんとすと

◎甲山精銅開始

久原甲山銅山にては豫定の如く十二月一日より精鍊を開始せる旨二日其の筋に報告あり同山の精鍊額は一個月五十萬斤なりといへば北韓地方隨所に於ける鐵鑛の發見と相俟つて今後の鑛産額を增進せしむること鮮少ならざる可し

◎咸鏡丸阪神航

朝鮮郵船會社にては定期修理の爲め長崎船渠に入渠せしめゐたる咸鏡丸出渠二日釜山入港同港にて穀類を積載せし上第一回臨時船として多分三日出港阪神に航行する事となるべく其の積載量約七百噸なり

◎調査簿地籍圖展覽

京畿道外四道に於ける左記各郡の土地所有者及び其の疆界は十二月一日より三十日迄各郡廳に備へ付け一般の閲覽に供する土地調査簿及び地籍圖通り調査局に於て査定せしに付不服ある者は公示期間滿了後六十日内に高等土地調査委員會に申立つべしと

▲京畿 水原、始興▲忠南 保寧、瑞山、唐津▲全北 南原、任實▲全南 靈光、珍島、長城、潭陽、光州▲黄海 金川、松禾、延白、海州、瑞興

◎北京總稅務司一行

既報の如く北京政府總稅務司アグレー氏一行七名は過日來新幕附近に遊獵中の處雉子其他多數の獲物を得三日新幕出發北京に向ふ由

◎三島理事消息

東上中の三島鮮銀理事は美濃部總裁の著任に先立ち近く歸京すべし

◎井上氏の卜居

前東拓理事井上孝哉氏は東京本郷區西片町十番地ほ三十號に卜居せりと

◎京電の記者招宴

京城電氣會社の記者團招待宴は既報の如く二日午後六時より花月に於て開催されたるが來會者主客共廿餘名席定まるや岡專務取締役の挨拶あり次で阿部本社長來賓一同を代表して謝辭を述べ其れより宴に移りたるが其の間種々意匠を凝らしたる餘興あり一同十二分の歡を盡して散會せしは十時過ぎなりし

人事消息

▲持地六三郎氏(土木局長) 二日仁川へ出張
▲半田口元學氏(朝鮮瓦斯電氣社長) 二日夜入京朝鮮ホテルへ
▲佐藤潤象氏(同取締役) 同上
▲マツクイン氏▲ウイリアム氏(以上鑛山家) 同上
▲吉田勇氏(廣梁灣出張所長) 二日夜入京浦尾旅館へ
▲宮崎洸馬氏(工學士) 入京中の處二日夜退京

南言北語

歐洲戰爭も毎日新聞を見て居ると何も大して變つた事もない樣に見ゆるが十日位見ずに居ると變つて居る▲英佛獨方面の戰線も露獨方面の戰線も氣候の爲に大兵を動かす事が出來ぬ▲だから何しても大戰爭は容易にやれぬ▲唯比較的運動上に差し閊のない巴爾幹方面は戰爭が出來ると云ふ事は今更云はずとも判り切つて居る▲而して獨逸は此の北方戰線で活動の出來ぬ時機を利用して一擧に羅馬尼に殺到するであらうとは既に豫言して置たが▲不幸にして其の豫言が的中しかゝつた▲何時の間にやらマツケンゼン軍は羅都ブカレストを將に衝かんとして居る▲ブ市の重なる處は避難をしたらしい▲之は無論獨逸の作戰が成功した處で獨墺の應援軍が北方戰線から羅國方面に輸送せられたからであらう▲羅國が愈々塞維耳の二の舞になればサロニカの聯合軍は何うなる▲希臘は其れ見た事かと益々反聯合軍の氣勢が高まるだらうし▲半死半生の土耳古もムク〳〵頭を上げて來やう▲獨逸もまあ食糧や軍需品には苦まぬ事になるかと云つて獨逸が更に強くなるかと云ふと其うでは無い若干命が延びる譯だ▲獨逸は此の機に於て盛に講和運動を始めるに相違ない▲獨逸に取つて講和を持ち出すには羅國の敗北した時が一番好い機會であるからだ▲而して問屋は卸さぬが戰爭は益々永引く事になるから愈々以て戰爭の終末は明らぬ事になる▲朝鮮の名士が地方巡視の際到る處で健筆を振はれてある事は能く拜見する▲今度も清州の北一樓に行くと九尺床の左には白狐峯將軍の軸右には山根殿山代議士次の間には國分漸庵長官▲最も長官のは額も見事に出來て居た▲其の中殿山代議士の筆は到る處にある殿山とは前總督府囑託ドクトル山根正次君である▲三千浦の小旅館にふるぼけた故伊藤公の額が掲つて居たのには慰いた

朝鮮出頭は大正六年

─花咲く春に可有之候─

大塊野田卯太郎氏郷里に歸りし儘東拓を罷め、高麗の秋にも背いて遂に來らず、待てる人を失望せしめぬ、最近二十九日付にて無佛社長の許に寄せたる書信の要領に曰く

小生儀來る二月發足東上可致候。尤も福岡へ一泊、京都へ一泊、來月五六日に到著の豫定に御座候

丙辰の江戸見物や年の暮

朝鮮出頭は大正六年の花咲く春に可有之存居候

一昨二十七日四年振に出熊、第一次に明石將軍へ面會、約四時間、所謂乾坤を縱斷し、古今を貫き、近來の快談に有之候。第二次に原田代議士に會談、同宿同臥、昨朝原田同道、故高田露園君の墓に詣で

諸行無常紅顏去て霜の墓

前十一時二十五分發、歸鄕、本日早川千吉郎君三池へ參り候に付、炭礦社の晩餐會に唯今より出席の筈に御座候……。

各國時計 自轉車 蓄音器
直輸入 卸商 喜多金光堂
京城黄金町二丁目(電話一〇一五番) 振替口座七八二番

國民新聞社編輯 大正六年 國民日記
▲定價金四拾五錢 送料八錢
本年初めて刊行し、日記界破天荒の意匠と、用意周到を以て知られたる本書大正六年度用は、更に幾多の改良と工夫とを加へ、既に製本出來して御注文に應し續々發送中なり。大部數應需の準備あるも、躊躇せば品切の憂あり、此際至急御申込を待つ
發行所 民友社出版部 東京市京橋區日吉町
發賣所 京城日報社代理部 京城太平町一丁目 電話六六〇番 振替京城三〇〇番

新刊圖書御案内

書名	著者	定價
朝鮮現行官制官規	巖松堂	七〇
同 民刑法典	同	一、五〇
同 警察衞生法規	同	五〇
朝鮮地方行政法規	同	四〇
同 租稅及會計法規	同	二、〇〇
同 土地林野法規	同	五〇
同 水産法規	同	一、〇〇
同 交通運輸法規	同	一、〇〇
同 現行諸法典	同	八〇
債權總論講義案	鳩山秀夫	七五
物權法提要第一卷	三瀦信三	七五
經濟原論 上卷	山崎覺次郎	一、〇〇
大正の青年と帝國の前途	德富猪一郎	八〇
弱者の爲に	杉村楚人冠	一、三〇

大正六年度日誌いろ〳〵 澤山著荷仕候
巖松堂書店 京城店 東京本店 仁川店
京城本町二 電話一一六六番 振替京城二四五四番

平壤栗卸
京城南大門外 池田商會 電話七五九番 振替口座二四七番

文章世界
■來るべき時代の文壇……中村孤月
△文藝批評の根本義……稻毛詛風
■生田武者小路兩氏に……廣津和郎
■詩壇九人集　評言(川路柳虹 柳澤健)
■初冬の記事……田山花袋
△人間の巣……多々野安郎
△歸化詩人の舊櫻……小波
△明るく淋しく……萩原井泉水
■日記から……相馬泰三
小說
側室制度……生田葵
馬鹿……カソンスキイン 小野
惡魔の曲……美智子
十二月號 定價二十五錢 郵稅二錢 東京 博文館 振替一二三四〇番

新日本
▼颱風？暴風？第卅八議會
▼各政黨皆無聞志……副島博士 ▼大波瀾か小波瀾か……小山東助 ▼火花散る可き財政問題……若槻禮次郎 ▼平穩か解散か解散か……松山忠二郎 ▼武器に弱せる憲政會……林毅陸
▼大なる小にして現下の莫大小問題……神戸博士
◎大哲出でよ！英雄出でよ！……永井柳太郎
▼減債基金全廢論……豊川良平
◎ウイルソン大統領に與ふる書……大山早大教授
誰れにか經國の大志を傳へん……大隈侯爵
◎露人の日露貿易觀……UA ◎戰爭と新成金……山口竹堂
▼歳晩 春の貧民と市內四十有八村
◎今日の世界……横山健堂
◎岩本榮助と鹽見政治……杉中種吉 ▼株式熱より土地熱……源次郎
◎衆議院の雄辯家……
◎麻布風土記(東京新繁昌記)……山口孤劍
◎輕井澤と田園都市……神田生
▼觀聲抹殺論……小林橋川
▼小說 不死身の女……森田草平 ▼脚本 常夜燈……中村吉藏
十二月號(郵稅共卅二錢六) 一圓八十六錢 東京神田 富山房 振替五〇一

◆お待兼の十二月號が出ました◆
大陸婦人界
歳末を飾る美しき女王の裝ひを見て下さい◇
口繪 ■記念……夫人送別會 ■立諸式當日の東京 ■得意の人 ■愛國婦人會の兒玉伯 ■令嬢通信 ■京城の春祝
◇現代婦人思潮の二大傾向
◇歳暮贈答品の直段調べ
結婚……女子大學 高島平三郎
自害の方法を心得てた會津藩の婦人……醫學博士 芳賀榮次郎
婚約の肉體的注意……ドクトル 工藤武城
■彰義門の秋……靜軒 ■京城見物……板橋生
■昔の結婚……文學博士 佐々醒雪 ■關西亞の女……大西我羊
教育上から見た婦人と精力……青山女學院 塚本濱子
■男子唯一の味方……鳩山春子
◇水府烈公の農人形……文學士 太田秀穗
家庭生活の改善……女子大學校長 成瀨仁藏
■人妻となれる妹に送る……石森胡蝶
◇夫の不品行を歎く妻に與ふ……森野泉
貞操問題は性慾問題である……早大教授 内ケ崎作三郎
赤い鳥の夢……新進作家 久保田富江
■子福者家庭(氷越淨庵氏の家庭) ■家庭訪問記(石塚英藏氏の家庭)
令嬢通信……遠藤亮子 氷越河鶴子
記念……伯爵夫人 兒玉澤子
◇心……文學博士 前田慧雲
■經濟な裁方二つ……京城高等女學校長 明石梅子
◇ポスト ■大正五年を送る ■兒玉夫人送別會 ■十二月中家庭料理 ■編輯局から
□皆さんへ
◆金剛山登山記……三島靜子 國分峰子 渡邊たつ子
■彼の女の悲哀……勃 ■我が夫に望む六ケ條
■短歌……選 ■俳句……靜軒選 ■敎會巡り記……聖パウロ敎會
購讀申込所 京城太平通二丁目 大陸婦人界社 (電話長二四〇〇番 振替京城二〇〇〇番)(内地臺灣支那滿洲各地書店に在り)
一刻も早く御覽あれ此の麗はしき姿を◇◇
□◇□ 毎月一回發行 一冊廿錢 半年分郵稅共一圓廿四錢 一年分同二圓四十五錢 □◇□

……軍苦闘敗走
○吳俊陞動靜
○伍新外交總長
悉して居るから一言して見よう氏は支の書紹儀氏よりも先で外交官と……國並に米國に公使となりたる經歷ありて英語は最も其長ずる處である後……鐵道の普及に努めた次第であるが當……自分は大倉組に關係して居つたも……斷定出來ないが兎に角當時は餘程困難を感じたやうであつたそれで自分に對して英語で書けるならば横文字……受け立派なる學者となれるものは其例罕れである前外交總長の陸徵祥唐紹儀などの新進氣鋭の士は手腕……

…閣の後ジョワレズの南方に到着したるがチワツ市の街路は軍隊を以て埋められ居れりと(紐育電報)

…午後五時田村師團代理の招宴に列し一泊の後三日午前五龍背に向ふべし(安東縣特電)

…とは往年支那滯在中親しく交際を結んだ關係で可なりその人と爲りを知…學窓で逞つたもので法學博士の學位迄有して堂々たる紳士である爾來英…

▲歐化せる紳士 その後鐵道局長といふものに推薦せられ鋭意…書物の理解が餘程困難のやうに見受けられた最もこの點は李鴻章在世當時の話であるから今日も尚そうだとは…那に於て英語を話し獨逸語を話す所謂ハイカラの士は其數尠くないがしかし伍氏のやうに順序正しき敎育を…界の大勢を觀察して紛糾せる支那目下の外交を一掃する怪腕あるや否やは疑問とせざるを得ぬ

●大山公爵病勢少からず
侍從を差遣し給ふ
御見舞品の下賜――稍持直ほす

聖上陛下には大山公の病氣に就き殊の外大御心を痛めさせられ一日午後三時海江田侍從をして病氣御尋ねの爲め公爵邸に差遣はされたり三時十分海江田侍從は大山公邸に著し西郷從德侯の案内にて別室に入り陛下よりの御諚並に陛下御常用の最上葡萄酒二本を御下賜ありたり公の病狀は前日に比し著しき變化なきも昨夜スープと重湯とを攝取したる後約半量を吐瀉し氣分は幾分宜しき方なるが時々嘔吐の爲め覺醒する事多く安眠せり(東京特電)

▽初めは腹痛 疲勞甚だし
二宮元帥副官談

大演習に隨行し居たる二宮元帥副官は語て曰く「元帥が陛下に扈從して須磨に來られ内田家別邸を旅舍と定められた時までは別に體が悪いとも思はれなかつたが十七日朝に至り急に腹痛を催された元來元帥は平常健全であるので始は一時的のものかと思つたが取敢ず急に近隣の醫師に見せたが病症が判明しない其間に内田家より神戸の醫を招いて呉れ引續き兵庫縣知事の見舞として神戸病院の副院長を遣はされて診て貰ふ事となり一先づ汽車に乘る事となつた車中吃逆と嘔吐の爲め元帥には餘程御苦しみになられたので其結果歸京後も

▽心臟が弱て居る
宮内秘書課長 市來政方氏談

「非常に疲勞されたが只今は落付いて居られるが玆數日が最も大切の樣に見受けられる」元帥は大分お弱りになつた容子であるが一體元帥は平日至つて壯健な方で風邪位は引くこともあつたが大した病氣に罹つたことがない人だ其れが不圖胃加答兒が原因で腹膜炎になつた由です、二十七日は最も悪く嘔吐も甚かつたので廿八日は禁食して僅かに滋養灌腸をしたが廿九日よりは嘔き氣も尠く稍安靜の狀態であります併し脈搏は百十拆いふ最も面白くない狀態でありそれに心臟が大分弱つて居るから萬一心臟痲痺でも起す樣なことがあつてはと大に心臟を養つて居る次第で玆三四日經つて見ぬと何とも解らぬ不安の狀態であります

●總督は非常な元氣
寺内首相の多忙――海軍大演習――ドレ〳〵艦型が大きくなる――新任總督附武官釜屋少將は私と同期――森海軍少將談

本夏七月寺内總督と共に京城を去りたる前總督附武官森海軍少將は一日午後九時著の列車にて五箇月振りに入京、往訪の記者に語つて曰く「寺内前總督は東京でも相變らず元氣で居られる、殊に首相となられてからの日常は朝から晩まで

▼非常に多忙 で夜間までも來訪客に應接して居られる有樣なか〳〵以て多忙である、長谷川新總督も近々渡鮮せらるゝであらう、總督は途中郷里の岩國で法要をなされまた伊勢大廟、桃山御陵にも參拜されるといふ事である、自分は長谷川總督に隨つて九州の大演習にも出いたが總督は非常の元氣で居られる、博多からの歸途は下關に一泊して直ちに東上したのであるが博多驛では夥しい乘客の爲めに總督も

▼辛じて乘車 された始末中には汽車の窓から飛び込む人もあつた位ゐだ、私も去る大正三年の十月頃から京城に來て逗回殆んど二年ぶりに歸京するとゝなつたが海軍では誰れでも二年目位ゐに轉任するのでお定り通りに變るに過ぎない、後任の釜屋少將は私と海軍兵學校から同期生で日露戰爭の時には確か敷島に搭乘して居たと思ふがこれまでは海軍水路部長の要職に在つた人だ水路部といふのは恰度陸軍の

▼陸地測量部 に當るところである、何忠道中將かあれは少將の令兄に當る人である、今年の海軍の演習には自分は用事が多くて觀戰の機會を失うた、由來海軍の演習といふものは双方海上遙かに對抗するもので時には船影さへも見ないでお了ひとなる事もある、それで演習の面白味は艦長あたりが味ふ位ゐと申してよろしい、格別陸軍のやうな興味はないのである

▼日本の海軍 も扶桑、山城、伊勢などの如き三萬噸級の戰艦が出來つゝあるが世界の大勢に鑑みると何うしても八四艦隊位ゐでは不可ない、今日扶桑一艘の武力には三笠などが十隻かゝつても相撲にならぬのである、殊に砲熕も十四吋から十六吋迄にもなつたが船型も三萬噸は愚か五萬噸にも六萬噸にもなるかも知れぬ、現時では各國共競爭を恐れてこれ以上のものを建造せざる迄のもので斷乎として建造しようと思へば何時でもより以上のものが出來るのである、日本海軍の抱負は太平洋の水も南洋の浪もわが家の庭池のつもりにせんければならぬ、自分は此の六日か七日に出發の豫定、後任の釜屋少將は少々遲れるので東京で逢はうと思ふ

星州洋畫展覽會

●ウエルチ博士
朝鮮へ
内地に永住する お馴染のハリス老博士は

我が國に於ける基督敎の恩人ハリス博士は本年四月米國に歸り五月に紐育サラトガ、スクリングで開催された大會の席上で任期滿了したのを機會に日本の監督を辭任した而して其後任にはオハヨーウエスリヤン大學校長を十二箇年も勤めて居たウエルチ博士が任命された

▲ハリス博士が 辭任したのはもはや古稀の齡を重ね今後六箇年の任期を果し得可まやを憂ひて隱退する事に決したのであるさうだが博士自身は其外に多年宿望して居た日本永住の目的があつたのである其れは餘生を日本の地に送り千歲の齡盡きた時青山なる夫人と愛孃との墓側に眠らんとする覺悟を有して居たからなのだ、で

▲博士は後任者 の定まると同時に再び來朝すべく準備して去る十一日新任監督ウエルチ博士夫妻同伴桑港發の天洋丸に便乘して二十七日橫濱に入港し直ちに上京して目下帝國ホテルに投宿してゐる博士はさも喜ばし氣に今回の渡來に就て語る『私は監督を止めたけれど儘悠悠餘生を送る心算ではない飽迄も日本と朝鮮との傳道事業に力を注ぐ考へだ殊に日米間に亙つて精神的に同盟を結ばせたいと思うて居る又其外に一つの望みがある夫れは私が明治六年に渡來して以來今日まで見聞した事どもを綴つて

▲出版したい事 だ然うして夫れが歷史の參考材料にでもなるならば何よりも喜ばしい又私は此の先日本をホームとして永く永く一生を終る覺悟である』と實に博士が明治六年以來四十有餘年の今日迄我國に對する功績は偉大なるものであつた分けても敎會傳道の開拓と敎會三派の合同事業から朝鮮に於ける傳道並に明治十九年在留邦人の爲めに努めた太平洋沿岸の傳道等最も其著しきものであつた次に今回博士の後任として新に赴任したウエルチ監督もハリス博士に劣らぬ親日家であると事氏は今後專ら朝鮮の傳道に努力する目的で來週の金曜日頃京城に向ひ永く同地に駐在する由

●賣約相踵ぐ
星州畫會盛況

昨二日本社來青閣に於て開會せる探險畫家三迫星州作品展覽會は午後五時を以て閉會を告げしが來會者約二千を算し何れも雄大なる作品に對し讃嘆の辭を惜まず中學生徒の幾組は作品を寫生して去りたる者あり中村時章氏は筆者星州氏と舊知の間柄とて會場に於て來賓の應接に當られたり主なる來賓は國分長官、松永道長官、城、渡部法院長、松寺檢事正、佐藤醫學博士、小宮李王職次官等にして何れも作品の多數なるを賞したるが作品の賣約は十數點に達したり本三日は午前九時より午後五時迄開會する筈

●下關の火事
下關岬の町にて二日午前四時失火あり十四戸燒失せり(門司特電)

●古間木驛員收監
過失殺傷罪に問はる
壯丁列車衝突の慘事を演出せる古間木驛助役及び驛員二名は過失殺傷罪に問はれ收監せられたり(東京特電)

●全鮮虎疫患者
十一月二十七日より三十日迄朝鮮に於ける虎疫患者は内地人三百五十人朝鮮人一千六百四名英國人一名合計一千九百五十五人なりと

●意匠を凝した
假裝行列
盛んなりし警官聯合の大運動會

警察官聯合運動會午前中の光景は昨夕刊所報の如くなるが更に午後に於ける模樣を掲記せんに當日第一の呼物として觀客の最も注目したマラソン競走たる山登りは運動會場から三角山巓に聳ゆる一本の國旗を目蒐けてスタートを躍り出でた選手の面々は一齊にあの嵯峨たる岩壁の聳立し居る峻坂を物ともせず猿の如く攀登り有讚の

難嶮を僅々十七分
で山巓に達して往復三十分の間に第一著に歸り著いた名譽の勇士は常備消防隊の金永燮消防手であつた、第二次いで中森善消防手が第二著、第三著は龍山分隊の龜田上等兵であつた此の時觀客は場の内外に溢れ出で一同大喝采の裡にマラソン競走に當選した第七等迄の有賞者は音樂隊を先頭にして競技場を一週した、終れば障礙物飛越が二回あつて次は憲兵警察官のお手の物たる捕繩競爭があつた、捕手が犯人を逮捕して歸つて來る際被告人が先に走つて來る所などは何れも

滑稽の有りつ丈を
さらけ出したものといふべく、其他盲目の向ふ見ずで走つて行くことや掌から辷り拔ける鮨捕り競爭さては著衣競爭から解答競走、乃至は競馬から背進走り一人一脚と移つて興は愈々佳境に進んだ頃滿場の觀客を

警察官聯合運動會

煙に捲いて抱腹絶倒せしめたのは各隊署が極秘の裡に凝りに凝らした意匠づくめの假裝行列である先づ觀衆の一隅から朝鮮古有の音樂を先頭にして靜々と場内に練り出したのは警務部の捕盜大將行列で眼のあたり朝鮮の新舊警察界の變遷を物語り續いて現はれたのは京城分隊の

入營者見送り行列
である先頭には入營者を送ると認めた旗旒を押立て古ぼけた羽織袴の田舍の老村長から入營壯丁の兩親から海老茶袴の女學生扮ては五尺五寸もあらうといふ大娘婦迄が見送つて行くといふ奇拔さ加減一同の歡聲裡に引續いて出るも出たり罷態百出とでも言ふべく昌德宮署の古今の警察用具時代行列は一抱へもある手帳、捕繩、警笛と十數人も連り其後から本町警察署の明治維新の頃から現代迄の警察界の服裝の變遷を時代順に現はした二十餘種の行列で劈頭には月代の若武者姿の捕手羅卒から

明治初年頃の巡査
警部が其儘現はれ何現時の臺灣と關東州の警官も附添ふてゐた、更に當日白眉の稱のあつた鍾路警察署の行列は小山のやうな大張拔きの大鐘を擔ぎ出されると其の後には我が國の歷史的に朝鮮に關係のある人物を時代順に並べたもので先頭なる鎧姿の神功皇后を初めに豐臣秀吉、加藤淸正、大鳥圭介、花房義質、伊藤博文なんどと約二十名の人々が何れも署名された小旗を襟にして繰り出した、後には大原女もあれば化物も出るといふ次第で、其後には

虎も出る狼も出る
龍山分隊の捕盜行列一隊に引續いて常備隊ではお手前の『江戸の花』と銘打つた文身姿の勇ましいめ組やは組の江戸時代の消防手が消火の器具を引擔いで出て來れば其後には見るからに[illegible]の優しい奥方が薙刀を擔いで甲斐々々しくも裳を捌いての姫御前の立退行列、町奴姿の荷夫も打續いて出てくる、是等百數十名の罷樣變裝の聯合大行列は盛裝した李王職の音樂隊を先頭にして蜒蜿長蛇の如く大輪を描いて場内を二週したが暫時は鳴りも止まぬ

大喝采の盛況を呈
した、斯くて長蛇の大行列は場の中央に整列の後蜿蜒うねりを打つて一隅から場外に雪崩れ出で終りを告げた、其の後には李王職音樂手の日本女學生、西洋人男女、支那人男女、朝鮮古來の舞踊姿等に扮裝した十二名の一團が曲秘を奏づる音樂の旋律に相和して妙技のダンスに觀客を恍惚たらしめ終れば更にプログラムに殘りたる犯人押送競走があり、つゞいて警務部對昌德宮署各三十人宛(以下何れも一組三十人宛)の綱引あり

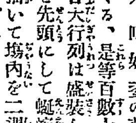
昌德宮署側の勝利
となり次は龍山分隊對京城分隊は引分けとなりて玆に無事終結し折柄沛然天に響然鳴り響いた一發の爆竹を合圖に當日の聯合大運動會は午後五時頃滯りなく閉會を告げ斯くて平素嚴めしい官憲の人々も今日の一日の行樂をゆくりなく終へたのである當日は是迄未曾有なる憲警側の大運動會のこととて朝鮮貴族を始め軍隊、憲兵司令部、警務總監部、裁判所、道府廳等の官公吏其他京城重なる内鮮官民頗る多數に達し近來稀なる大盛況であつた

●故岡村技師追悼會
十二月二日は故鐵道局技師岡村初之助氏の一周年忌に相當するを以て同局有志相謀り午後二時より舊龍山瑞龍寺に於て追悼法要を營みたるが定刻大屋長官、小城、廣井、三本、和田、稻垣、加藤の各課長以下有志高等官遺族等著席し讀經の後遺族其他參會者の燒香あり午後三時會を終り其後會衆は故人を偲ぶ談話を交へ四時すぎ散會せり

●連れ出して詐欺
京城松月洞柳彰浩(四七)は九月中平南安州に赴き獸肉業韓致玉を賺かして同業組合を組織すべしと勸め其運動のため同人を京城に誘ひ來り自分は京城の大官貴族等に知人多きを以て是等の人々に對し成功する樣運動すべしと欺き十一月十五日迄に前後數回に八十餘圓を卷き揚げたる後同人の留守宅に打電して二回に八十圓騙取したること發覺し鍾路警察署に引致さる

○京城日本基督敎會 同敎會にては三日午前九時より日曜學校同十時より井口牧師の『マタイ平和』午後七時より同牧師の『平和の源泉』の說敎あり

◉妙心寺提唱 三日午前十時より無盡燈論の提唱あり



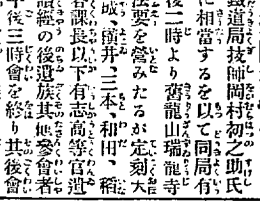
▲今度龍山の步兵七十八聯隊に入營した壯丁は松山山口岩國廣島の四聯隊區から集まつて來てゐるのでその各聯隊區からその地方の人情風俗を調査して貰ひそれによつて適當の敎育を施すのださうだ▲それから徵募區が違ふためにその體格にも相違があつて服、帽子が合はないといふ▲敎育程度は一體に高いが中には加州の大學にゐた本年二十九歲の兵もある▲下關では朝鮮、臺灣へ往復の兵が多數通過したり滯在したので土地の景氣は素晴しいものだつたが怪しからぬのは土地の宿屋の一部で遊廓と結托して宿泊の兵を一人送れば幾等かの割前を貰ふ約束で盛んに勸誘するので▲輸送指揮官はいろ〳〵考へた末憲兵隊に賴んで遊廓地、私娼窟界隈に網を張つて嚴重に喰止めて貰つたとはその局に當つた某將校の慨話

京城 株式會社百三十銀行京城支店 電話長五八番 振替貯金京城一一九四番 一二三番
資本金 五百萬圓
頭取 安田善三郎
京城本町壹丁目
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候 爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

新義州常盤町
綠屋旅館 電話六四番
建築と設備とは國境に於る代表的旅館なり
親切叮嚀勤勉は當旅館の特色なり

東京銀座三丁目
玉屋商店
鑛山用測量製圖器械
時計眼鏡貴金屬品
電話京橋 長三〇五 三〇六 三〇七
振替東京 四四八八

平安南道新安州
合資會社 藤井組
社長 藤井千城
鑛山及船舶業
食鹽輸入販賣

優等清酒

福岡縣三井郡山川村
釀造元 富安本店
京城永樂町二丁目
發賣元 富安京城支店 電話一〇三九番 振替口座四二三九番

營業品目
肥料部
蒸製骨粉、乾血、蹄角粉
星印配合肥料、細工用地骨
細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹼部
化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼
牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達
京城東大門外紅葉町
朝鮮肥料製造所 電話二六三五番
京城岡崎町一四番地
朝日石鹼製造所 電話二五六四番 西電話九七三番 振替口座京城四〇〇番

怒濤の月

小林蹴月作　武内桂舟畫

女の行方（三の一）

幸三郎の住宅は、牛込の矢來町である。無論お話にならぬ程の小さな家であるが、昔氣質の老母は、潔癖と云はれるほどの綺麗好なので、貧乏な割合に家の中は、能く整つて、そして小綺りと爲て居る。

彼の雅號は、祥雪と云ふのであつた。初めは四條を學び、後に狩野の風を慕つたが、結局本朝古畫の趣味に沒頭して、雪舟啓書記邊の偉大崇高なる筆致を會得するべく苦心しつゝあるのであるが、その實、彼の實力と經驗とは、また〳〵遠く雪舟や啓書記の脚底にだも及ばなかつた。技巧とか彩色とかの點では、多少先輩から認められて居ぬでもなかつたが、それでも一個の丹青家として、世間から名を數へられるまでには容易でなかつた。尤も年配もまだ漸く二十五の上を出て、二ツの正月を迎へたばかりである。祥啓（啓書記の別名）の一字と、雪舟の一字とを取つて、祥雪と自稱する抱負は立派であるが、彼の前途は大に遼遠なのである。彼自身と雖も恐らくはそれを知らずには居ぬのであらう。然し、藝術界の人には多く有りがちの偏狹と固執と神經過敏と、それから外物に對する不平心とは、殆んど彼幸三郎の全部であつた。口にこそ言はね、彼は許婚の絹代に就いても深き自信を有つて居た。即ち絹代は怎麼なる事情があつても、永久に必ず自分を見捨てるやうな事はないものであると信じて居たのである。正式の結婚こそは爲ないが、絹代は明かに確實に自分の占有物であり、又古有物と言ひ得べき權利があるものと信じきつて居たのである。彼は畫道修業のために、內地にもせよ、新領土にもせよ、半年一年と旅行する事があつても、萬一の場合には、此の絹代さへ近間に居つて吳れたならば老後の母を困らすやうな事は斷じてあるまいとまで、腹の中に極めて居たのである。

所が、青天の霹靂！意外とも案外とも譬へやうのない問題が、文展に出した彼の作物の落選が發表せられた今日――殆んど同時刻に於て、彼の胸を轟かしめた譯である。

彼は、番町のお久が歸ると間もなく、ふら〳〵ツと我家の戶口を外に跨いだ。何等の思量も何等の目的もあるのではないが、靜乎として家に居て、母の寂しい頼りない顏を見て居るのが、餘りに辛く情なくなつたからの事である。

『こんな時に、心腹を打明けて相談すべき友達が一人あつて吳れると可いがな。一番仲好の瀧川は死んで了つたし。』

不圖亡友の瀧川の上が懷しくなつた。止まるともなく足を踏み止つた時には、何處を什う歩いて來たのか知らぬが、神樂坂下の甲武線停留所に近い、大きな櫻の樹の下に突つ立つて居る自分を見出したのであつた。此の頃に珍らしい秋日和の、空には一點の雲さへなく、わる暑い日影がかん〳〵と白い大路を照り付けて、ぎい〳〵と妙な叫びを立てゝ行くボギー車の響きが、臆を抉るやうに聞えた。風もないのに、薄黃ろくなつた櫻の病葉が、何事かの暗示でも爲るやうに、二片三片はら〳〵と彼の頰桁を掠める。

『ちよツ、死んだ瀧川が羨ましいな。文展の講は來年も出せるが、彼の女の心はもう永遠に取返しが付かない。』

幸三郎は、今日の今に迨んで、僣と絹代と正式の結婚を爲すに、遷延して居た事を悔いたのである。けれどもそれは貧ゆゑの結果である事を思ふと、天をも人をも怨む譯にゆかない。自分を愧づるより仕方がないのである。

『……叔母さんは、あんなに立派に本人も承知の上だと言つて居たけれども、實際絹代その者が、そんな了簡の女か知らん……』

幸三郎は、斷念めた下からもまだ挾まずには居られない。事に依つたらば、彼の戀しい母親が、お人善の良人や、世情に暗い絹代を好い加減に抑丸めて、無理往生にこんな事に爲て了つたのではあるまいかと思ふ迷ひ心が、それともなしに頭の中を往來して居た。それが爲めのみでもあるまいが、彼の足は、再び動き出すと等しく、自然に牛込見附の橋を渡つて、麴町の區域內に進んだ。

『危ねゑ、氣を付けなさい。』

突き飛ばすばかりに呼り立つる車夫の聲に肚胆を拔かれて、呀と眼を圓く爲ながら、其處を驅け過ぎる俥上の人を視やると、思ひきや、正しく絹代であつた。そして、後からも同じやうな俥が一臺つゞいた。

羨しやアンパン　ねしやドロツプス　買ひに木村屋二人つれ（京城明治町　電二八七〇）

年賀用名刺 ハガキ 十五日限り　京城 太平堂名刺舖　電話二七二番振替三三六七番

花柳病 皮膚病　須古醫院　京城府永樂町一商品陳列館通坂の上　電話二一〇二番

外科 內科 花柳病科 皮膚科　院長 正六位勳四等 島崎龍一　京城旭町二丁目（本町より左へ入る）　手術室新設 普通隔離病室　島崎病院　電話二七三六番

◎金剛飴の發賣　京城本町二丁目の飴屋商店より發賣の金剛飴は金剛產の松の實を調味して精製したるものにて美味にして滋養よく進物品等に適當なりと　大塊老人句あり『金剛飴霜松の實交るかな』

◎タイガーの電氣鋤燒　京城南大門通りカフエータイガー及び旭町一丁目白水に於ては輕便且つ鋤燒として理想的なる電氣爐で電氣鋤燒と云ふ頗るつきハイカラの鋤燒を開業せり

□國境より　田打夫

國境は滿目荒寥鴨綠江は僅かに水道を殘して白氷に埋められ居り候

○國境の街の灯に行く寒さ哉
○冬構へ土塗り籠めて窓一つ
○冬ざれや家あればある高粱藪
○焚くことに忙しき邑や冬日落つ

義州統軍亭

戰跡を指呼す丘氷江を前
彈痕を留めて亭や日寒し

新刊紹介

▲演藝畫報（十二月號）雁治郎の伊左衞門の新調綴錦歌右衞門の八重垣姬宗十郎の勝頼の三色版幸四郎の谷藏梅幸の累の二色版吉右衞門の幡隨院長兵衞雁治郎の勘平のコロタイプ等を卷頭に演藝寫眞には歌舞伎新富市村浪花帝劇各座の十一月狂言數十を載せ記事には芝居入門樂器研究大阪の芝居長唄の心得大阪俳優の遊び振り等本誌獨得の記事を收む（卅八錢東京市京橋區南佐柄木町七演藝俱樂部）

▲文章俱樂部（十二月號）新井藥師『森田草平』生活と藝術『久米正雄』日記に現はれた一葉、子規、紅葉、獨歩『小林愛川』其他（十錢東京市牛込區矢來町中の丸新潮社）

▲新年用達社報（新年初刊用見本）小說、講談、落語、雜俎、裝飾畫、廣告畫等巳の年初刊用のもの多くを集めたり（定價不詳東京市下谷區御徒町一ノ六九新聞用達社）

▲世の中（十二月號）新らしい千里眼現はる『石井杏村』實答と藝者問題『阪本紅蓮洞』法廷に現はれた女『武宮濟』名奉行の裁判『碧玉外史』等（二十錢東京市麴町區有樂町一ノ四實業之世界社）

▲良民（十一月號）五錢東京市麴町區平河町五の三六共社

▲山縣政務總監の實家は長州萩の勝津と云ふ家だが昔其庭に一木の珍らしい木があつた毎年夏になると白い花が咲いて青い實が生るそれが春になると段々黃色くなつて美しくなるが只酢ばいものだと云ひ傳へられて居て腐れて落ちるに委せてあつたが或夏さんな味がするか食べて見ようではないかと云ふ處から恐る〳〵皮を剝いで食べて見たら酢いには異いないが中々甘かつたそれが今日長州の名産たる夏蜜柑だつた（章魚入道）▲二日の朝十八銀行の前で光熙門から義州通への電車が脫線した乘客の一人曰く『毎日同じレールの上を走つてると電車でも時には脫線したくなるさ乃公だつて毎日同じ碼の面を拜んで居りや一時々脫線もするんだ』と自己辯解がちと手厳しい（聞た人）▲活動寫眞の見物中暗中で觀客同士口喧嘩をやるのは他人の迷惑大國民のする事じやあない（君子人）▲本町から商品陳列館の方へ入る小路でよく四五人位用便す可く散兵をやつて居るが見つとも善い圖ではない（不快生）

京日案內　普通

◎京城で一番安くて上手で丁寧な染物店は　南大門通二丁目　西野染工場　電話二三八六番　833

◎會員募集　本部 京城本町二丁目勢山樂器店內　支部 龍山漢江通森藥房內　尺八教授竹要會　834

◎ピアノリン　ハトポッポ。オ月サン。モモタロー　其他一人で歌ふ面白樂器　京城本町勢山樂器店

一、販賣人募集　身體強壯、商業經驗者保證人二名（蓬萊町四丁目）東亞牧場　840

尋犬　黑スパニール雜種腹白牝名エス御見當の方は左記へ相當謝禮　櫻井町一八七齋藤　841

▼古樂器と古本買受は數年の信用有誠實の定評　本町二・電二五二七・ウツボヤ書店　591

◎女中入用　年齡不問品行善しきもの本人來談　京城南山町 松國　837

◎店員入用　十五歲以上廿五歲迄本人來談　京城本町二 松菊屋小間物店　838

金融　月收の御方へ極秘信用使宜立替御報伺又來談　大和町三の三二（栃澤前）起木屋　839

經驗ある看護婦一名至急募集す（履歷書携帶のこと）　京城黃金町二丁目八五　朝鮮貧費診療病院　832

◎手代入用　四十歲以上並に店敷名入用　京城壽町百二十番地　大橋大三郎　831

番外　毛皮なめし並に仕立　鳥獸剝製調進販賣　京城本町二丁目電二〇六五榕元商行　842

恩給　年金 長期　即時　立替月利壹步二厘五毛　三年迄無保險　京城南大門外舊御成町　西鮮支店京義線沙里院　山口屋　廣川商店　843

店員入用　年齡十四五歲より二十歲迄の者至急入用希望者は來店あれ　京城本町一丁目　ますや吳服店　813

◎銃砲火藥 獵具　京城本町三丁目電話二〇九二番　增戶銃砲店　755

◎株　成金愈々續出す　京城本町二丁目　大阪野村德七代理店　電話（長）九九三番　田中吉友商店　836

恩給　年金 月利 壹分即金　立替 825　子前利せず確實掛引なし秘密嚴守　京城若草町通中央郵便ポスト前　西村商會

京城春川間自動車　毎日午前八時卅分出發　京城南大門通一丁目　電話二一九番　廣橋自働車　630組　金片道四圓

角形石驗元祖　京城蓮米倉町二八四番地　電話三二九四番　振替京城三一三九番　浦本石鹼工場　759

佐賀縣基里村　結核專門　古賀病院　鳥栖田代驛ヨリ四丁

るいれき病にて永年苦しむ方も手術せずして淋巴腺大きく腫るゝを消散せしめ後尿に混じて體外に出る良劑あり郵封入二三錢切手二十錢　詳報す東京芝高輪北町救生堂

男の生殖器病

生殖器發育不完全で包莖、陰萎、早漏、遺精、夢精、勃起不全、交接不快、快感減少、腦神經衰弱等の人は自宅で簡單秘密に新案特許眞空療法器と原因療藥を併用すれば一回毎に効力が現はれ豫想外の偉効に驚くべく知名博士も其實効を證明し實驗諸氏の賞讚湧くが如しハガキで申込あれ懇切說明書無代で入用日に判らぬ樣密送す來所者には醫院部にて懇切說明す入院治療器一度實驗せよ『電話神田七二二番』東京神田かぢ町五　東京 眞空療法研究所

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます　クラブ化粧品代理店ですから……卸値がお安いです　京城本町二丁目角　古城贊化堂　電話一〇二番振替七三七番

內科 小兒科　京城日出小學校前　多々見醫院　入院隨意　電話九四〇番

優等清酒　京城府蓬萊町四丁目　三巴正宗發賣元　三巴酒造場　電話局一〇六七番 振替口座六一八番　大田支店 電話局一二五番　平壤支店 電話局五一一番

君が腦神經病は治る者と信ぜよ　而して……腦・神經病特效藥　健腦丸を用よ!!!　健腦丸の効果は世既に定評あり

島村博士證明　腦病良藥　健腦丸　KENNOGWAN

主効　▲腦充血 ▲腦膜炎 ▲逆上症 ▲神經痛 ▲腦貧血 ▲鬱憂 ▲卒中　▲頭痛 ▲耳鳴 ▲中風 ▲眩暈 ▲健忘 ▲便秘 ▲癲癇

特長　健腦丸を常に少量宛持藥とせば逆上を引下げ不通を快し恐る可き腦充血を快治し中風卒中を未發に防ぎ記憶力を增進する特効あり先づ一週分を試みよ

藥價　□四日分廿錢　□半週分四十錢　□一週分七十錢　□二週分一圓三十錢　□三週分一圓八十錢　□五週分二圓八十錢　□十週分五圓　全國海外の信用藥店にあり

本舖　東京 大阪　丹平商會藥房

大邱浦項間自動車時間　（大邱發・浦項發各地時刻表）　大塚農場自動車部　大邱出張所　電話一一七番

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽行　三河丸　十二月四日　正午出帆
○大連、秦皇島行　相模丸　十二月十二日　正午出帆
高砂丸　十二月廿一日　正午出帆
仁川海岸町一丁目　電話一一番　堀　回漕部

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神阪行　有丸　十二月六日　後四時出帆
○大吉丸　十二月十一日　後五時出帆
○秀君丸　十二月十三日　後五時出帆
○神代丸　十二月廿四日　後四時出帆
仁川海岸通一丁目　電話五十九番　高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戶、大阪行　立神丸　十月　日後五時出帆
○門司、神戶、大阪行　小倉丸　十月　日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行　立神丸　十月　日後十時出帆
○小倉丸　十一月　日後四時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　十月　日後六時出帆
○門司、字品、神戶、大阪行　第三琴平丸　十月廿八日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天龜丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日午後十時出帆
釜山港立新町　本船取扱店　大池回漕部

朝鮮郵船出帆
○全羅丸　十一月五日
○京畿丸　十二月十六日
○黃海丸　十二月十二日
○咸鏡丸　十二月　日　釜山發
○穩城丸　十二月四日
○昌平丸　十二月二日
○鏡城丸　十二月　日　元山發
○第二錦旋丸　十二月十一日
○忠淸丸　十二月七日
○平壤丸　十二月一日　元山發
○盛德丸　十二月二日　釜山發
○江陵丸　十一月　日
○襄陽丸　毎日　浦項發
○三浦丸　十二月　日　釜山發
○海州丸　毎日
○統營丸　毎日　釜山發
○順天丸　三日目毎二　木浦發
○慶興丸　十二月四日　木浦發
○慶興丸　十二月二日　木浦發
○公州丸　十二月　日　木浦發
○宗信丸　十二月一日　仁川發
○江原丸　十二月七日　仁川發
○麗水丸　十二月一日　仁川發
○晉州丸　十二月八日　仁川發
○全州丸　仁川發
○南陽丸　毎日午前　仁川發
本社 電話長一九五二番二二三三番　京城南大門驛前　京城荷客取次店 松原運送店（電話長一七〇番）

共同汽船仁川出帆
○第一共同丸　芝罘、大連行　十二月五日正午出帆
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡運賃制大連に於ては寄島行定期船接續荷客共直航　阿波共同汽船株式會社
本町四丁目（電話一七三番）　仁川代理店　野口商會
元山代理店　春日町（電話二四七番）田口回漕部
京城取次店　南大門（電話一六八・一〇一七）河村運送店

大阪商船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、門司、神戶、大阪行　安東丸　十二月十六日　後五時出帆
天草丸　十二月十一日
○木浦、釜山、濟州、長崎行　信濃川丸　十二月十三日　後二時出帆
○群山、釜山、下關、神阪行　藤州丸　十二月十二日　後二時出帆
○木浦、釜山、門司、神戶、大阪行　大東丸　十二月十三日　正午出帆
○鎭南浦、大連行　信濃川丸　十二月八日
○大連行　潮州丸　十二月廿六日　後二時出帆
○鎭南浦、大連行　麗州丸　十二月十一日　正午出帆
○滿洲、旅順、營口、芝罘、天津行　十二月十八日　正午出帆
○印度、城津、西湖津、浦潮行　安平丸　十二月五日　後二時出帆
○宮島丸　十二月十一日
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）　湖北丸　十二月四日午後四時出
○基隆丸　十二月十五日午前六時出
御注意　乘船切符御購求の際は必ず仁川支店又は京城切符發賣所にて御求めあれ
京城切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　內國通運會社支店　電話七〇八番

商況

下關期米特電

仁川期米　安値 一六、五六　一六、五八　一六、九二　一六、九〇　止め 一七、八二　一七、九〇

▲更に新高値

▲後場の手振

▲大に買ふ

▲一邑の大商內

▲現物界

二日の二月限